

教員在院時間他所兼務等ニ關スル明治三十八年二月ノ訓示中ニ改正ヲ加
 十五 同月十三日故乃木院長一周年祭ヲ本院及初等學科ニ於テ舉行ス
 十六 同月十四日初等學科ニ於テ學生ノ父兄保證人懇話會ヲ開催ス
 十七 同月十五日 天皇皇后兩陛下還幸啓アラセラルルニ付學生宮城正門外ニ
 整列シテ奉迎ス
 十八 同月二十日閱覽室規則第一條中ニ改正ヲ施セリ
 十九 十月三日乘馬四頭ヲ下賜セララル
 二十 同月六日此ノ日ヨリ十一日マテ高等學科及中等學科學生ノ身體検査ヲ行
 二十一 同月十二日高等學科中等學科學生ノ父兄保證人懇話會ヲ開催ス
 二十二 同月十八日 天皇皇后兩陛下京都ヘ行幸啓アラセラルルニ付學生宮城
 正門外ニ整列シテ奉送ス
 開院記念式ヲ舉行ス

二十三 同月十九日東宮御主催ニテ初等學科學生ノ運動會ヲ新宿御苑内ニ開カ
 セラル
 二十四 同月二十日高等學科中等學科學生二百六十九名出發四泊ヲ以テ伏見桃
 山御陵參拜及京都奈良地方ヘ修學旅行ヲ行フ
 二十五 同月二十二日還幸啓アラセラルルニ付初等學科學生宮城正門外ニ整列
 シテ奉迎ス
 二十六 同月二十三日靖國神社大祭ニ付初等學科學生神社ニ參拜ス
 同月二十七日此ノ日ヨリ二十九日マテ初等學科學生ノ身體検査ヲ行フ
 二十七 同月三十一日天長節奉賀式ヲ舉行ス
 學生觀兵式ヲ拜觀ス
 二十八 十一月三月初等學科ニ於テ講筵ヲ開ク 明治天皇御治績ニ就キ土方伯
 爵講話ヲ爲セリ
 二十九 同月八日學習院規則施行規程第十四條中ニ追加ヲ爲ス
 柔道大會ヲ舉行ス

- 三十 初等學科學生香取地方へ遠足ヲ舉行ス
同月十二日特別大演習地へ御發轅ニ付學生宮城正門外ニ整列シテ奉送ス
- 三十一 學生赤坂離宮御苑ノ菊花ヲ拜觀ス
同月十八日還幸ニ付學生宮城正門外ニ整列シテ奉迎ス
- 三十二 同月二十三日打毬競技會ヲ舉行ス
- 三十三 同月二十四日講筵ヲ開ク 明治天皇御治績ニ就キ土方伯爵講話ヲ爲セリ
- 三十四 同月二十七日美ゆきのあと二部寶祚大典二部宮内省ヨリ下付セラレ
- 三十五 十二月二十二日寄宿舎炊事規程第九條ヲ改正ス
- 三十六 同月三十日別寮ノ新築落成ス其ノ起工ハ此ノ年九月十日ニシテ二階建百十坪五合平家建二十七坪七合二勺ナリ
大正三年
- 三十七 一月一日初メテ新年奉賀式ヲ舉行ス

- 三十八 守門服務規程中總テ守門ヲ巡視ニ改ム
同月八日第三學期始業式ヲ舉行ス
別科生取扱内規ヲ定ム
- 三十九 同月十二日此ノ日ヨリ二月一日マテ三週日間劍柔道寒稽古ヲ舉行ス
- 四十 同月十三日講筵ヲ開ク高木海軍軍醫總監國民衛生ニ關スル講話ヲ爲セリ
- 四十一 同月三十一日御在學ノ殿下方劍柔道寒稽古ニ御無缺席ノ時ハ表彰狀ヲ奉呈スルコトニ定ム
- 四十二 二月十一日紀元節奉賀式ヲ舉行ス
- 四十三 同月十四日劍道大會ヲ舉行ス
- 四十四 三月七日學習院規則施行規程第十條中及第二十五條ヲ改正シ舍費食費規程第三條中ニ改正ヲ行フ
- 四十五 同月十日陸軍記念日ニ付講筵ヲ開ク本院ニ於テハ石井學生監初等學科ニ於テハ櫻井歩兵大尉講話ヲ爲セリ

附

高等			中等學科						科		
二年級	一年級		別科	六年	五年	四年	三年	二年	一年	六年	五年
	第一部	第二部		年級	年級	年級	年級	年級	年級	年級	年級
一二	四	一四	了修 三	三四	二三	二六	四一	四六	三七	四〇	四二
一	一	一	一	一	八	五	三	三	一六	三	三
一	四	五	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一二	八	二〇	三	三五	三一	三一	四四	五〇	五四	四三	四五
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	三	一
一	一	一	一	一	一	一	二	一	三	二	三
一	一	一	一	三	二	四	四	一〇	六	四	三
一	一	一	一	五	三	五	六	一一	九	九	七
一	一	一	一	五	三	五	五	五	五	六	六
		留置 四一		留置 七一	留置 七一			留置 二四四	禁學 一一		

初等學科				事項
四年級	三年級	二年級	一年級	
四五	四五	三三	四六	及第
一	三	二	一	落第
一	一	一	一	休學 及缺席
四五	四八	三五	四八	計
一	一	一	一	褒一 狀等
五	三	三	二	褒二 狀等
一	四	二	二	褒三 狀等
				計
六	八	五	五	華英會館 寄贈賞牌
六	五	五	五	懲罰

學年成績一覽表

大正三年三月

四月二日卒業證書授與式ヲ舉行ス 御臨幸アラセラレ式場ニ臨御高等學科卒業優等學生一名ニ銀時計ヲ下賜セラレ 皇太子殿下ヨリ中等學科卒業優等學生二名ニ銀時計ヲ初等學科卒業優等學生二名ニ製圖器械ヲ下賜セラレ又式場ニ於テ各學科卒業優等學生ノ講演ヲ聞食ナレ訖テ學生ノ製作品及武課演習ヲ御覽アラセラレ學年成績一覽表左ノ如シ

考 備	合 計	科 學		
		別 科	三年級	
			第一部	第二部
此ノ表外ニ 皇太子殿下 兼仁親王殿下 宣仁親王殿下 ハ初等學科ニ御在學遊バサル 武彦王殿下 恒憲王殿下 芳慶王殿下 朝融王殿下 ハ中等學科ニ御在學遊バサル 博忠王殿下 邦久王殿下 春仁王殿下 博信王殿下 萩慶王殿下 ハ初等學科ニ御在學遊バサル 又 芳慶王殿下 博信王殿下 萩慶王殿下ニ贊同及華族會館ヨリ寄贈ノ頭牌ヲ奉呈ス	了修 了修 一	三	六	四
五五	一	二	二	
一二	一	一	一	
五七〇	一	三	八	六
七	一	一	一	一
二七	一	一	一	一
四八	一	一	二	一
八二	一	一	二	一
六四	一	一	二	一
留學 禁止 足學 一六五				

○醫務課報告(自大正二年三月至同四年三月)

第一 身體檢查

身體檢查ハ春秋二季ニ施行シ眼科耳鼻咽喉科及齒科ハ各専門醫ヲ招聘シテ検査

ヲ分擔セシメタリ
大正二年ノ検査成績ニ徴シ身體ノ發育營養ノ良否疾病ノ有無ヲ診別スルニ左ノ如シ

一 發育營養ノ關係

- (イ) 發育及營養ハ逐年漸次良好ニ向ヒツ、アリ
- (ロ) 學生ノ平均發育程度ヲ見ルニ身長體重ノ發育ハ十三年乃至十七年ノ間胸圍ノ發育ハ十二年乃至十九年ノ間ニ旺盛ナリ(第一、二、三、四表參照)
- (ハ) 胸圍ハ小學時代ニ於テ半身長ニ達セザルモ十七、八年ニ至リテ漸ク近ツキ十九年ニ至リテ半身長ニ達ス(第一、五表參照)
- (二) 胸圍ハ既往數年間全國中等發育兒童ニ比シテ劣位ニアリシガ四十二年度以降漸次佳良ニ發育シツ、アルヲ見ル(第四表參照)

二 體格ノ強弱

學生全身營養、身長、體重、胸圍、病病ノ有無ヲ診査シテ體格ノ等位ヲ評定シタルニ本年全員ニ於テ強健三六、〇三%中等四四、一二薄弱一九、八五%ヲ示ス之ヲ前年ニ比

スルニ強健一、三二%ヲ増シ薄弱二、五四%ノ減少ヲ示セリ(表六、七)

三 胸廓ノ構造

胸廓ノ狀況ハ各學年ヲ通シ前年ニ比シ良好ナリ獨リ初等學科學生中鳩胸及扁平胸等薄弱胸廓ノモノ多カリシモ前年ニ比スレハ扁平胸〇、四二%鳩胸一、六七%ノ減少ヲ見ル(表十一)

四 眼ニ就テ

眼疾中多數ナルハ學校濾胞及濾胞性結膜炎トス近視ハ初等學科學生九、二〇%中等學科學生二九、七九%高等學科學生二九、〇九%全員ニ於テ一九、八五%ナリ之ヲ前年ニ比スルニ全軀ニ於テ殆ト差異ヲ見ス(表十二、十三)

五 耳鼻咽喉病

耳鼻咽喉病ハ口蓋咽頭扁桃腺肥大多數ニシテ肥厚性鼻炎之ニ亞グ之ヲ學科別ニスレハ初等學科ニ多ク中等學科高等學科之ヲ亞グ之ヲ前年ニ比スルニ少シク増加ス(表十二)

六 齒牙

齲齒ノ加療セザルモノ三、七五%乳齒ノ殘存ハ七年ノ八六、六七%ヨリ逐年減ジ十七年ノ〇、三九%ニ減ズ智齒ハ十六年ノ〇、一〇%ヨリ漸次増加シ二十三年ノ六、六〇%ヲ示ス(表十五)

七 脊柱

脊柱ノ彎曲セルモノ十四人二、五七%ヲ算ス内左側彎曲七人一、二九%右側彎曲六人一、一〇%後屈一人〇、一八%ヲ示ス之ヲ前年ニ比スル一、七三%ノ減少ヲ見ル

第二 患者

高等學科中等學科一ヶ年受診患者數七百人ニシテ其病類ヲ月別スレハ左ノ如シ

病類	年 月												合計
	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月	
全身病	二	二				二	一	一九	六	二三	四五	二二	一一二
神經系病	一	三	三	一		三	一	一	一	一	一	四	二〇
呼吸器病	五	五	四			四	九	二七	八	二三	三	二	九〇

血行器病	消化器病	泌尿器病	眼病	耳病	外被病	運動器病	外傷	合計
一	一三						五	二一
一	五八			二	二		五	七八
	五九		一	一	一		一	七〇
	六							七
	一八				一		一	二九
	四七						三	六一
	六二					一	五	一一七
	二六			二	二	一	一	四六
	五〇			一			一	九九
六	五一	一			七		二	一一六
二	二四				二			五六
九	四一四			一	六	一六	一九	七〇〇

備考

本表ハ疾病ノ爲メ課業ヲ休ミタルモノナリ

第三 轉地游泳ニ就テ

夏季静岡縣沼津海岸ニ於テ二十一日間游泳演習ヲ行フ其間天候ノ爲メ演習ヲ休

止ル丁僅ニ二回ノミ演習開始前又最終ノ二回學生ノ體重ヲ測定比較シタルニ一般増量セリ左表ノ如シ

學科別	検査人員	總増量	總減量	最大増量	最小増量	増減差平均量
中等學科以上	一〇四	一四二五〇	〇五八〇	〇七五〇	〇一〇〇	〇一三一
初等學科	五三	三五四〇	一四三〇	〇三〇〇	〇一〇〇	〇〇四〇
合計	一五七	一七七九〇	一四一〇			〇一〇三

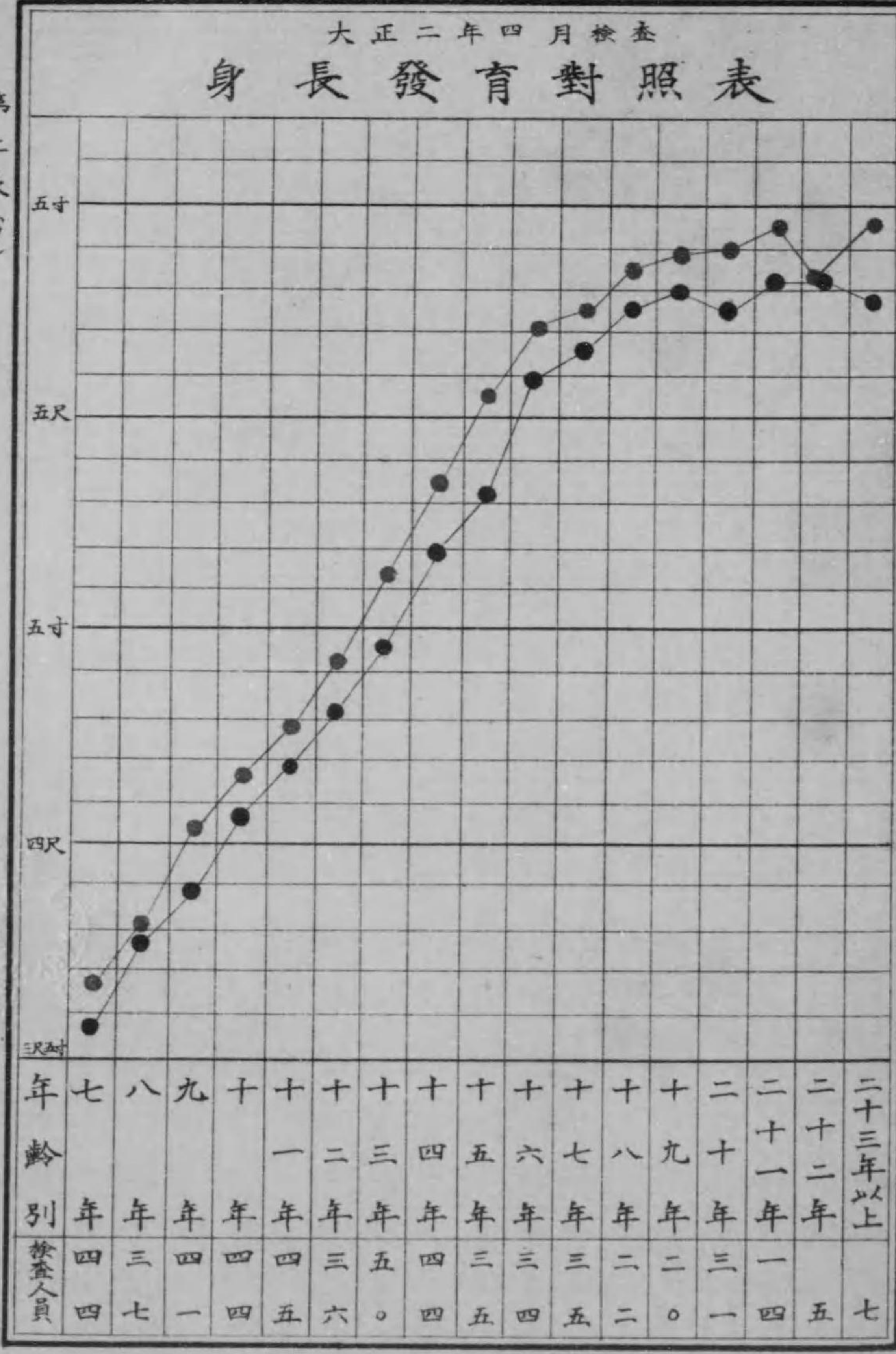
大正二年四月検査
體格發育表(第一表)

年	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三以上
検査人員	四四	三七	四一	四四	四五	三六	五〇	四四	三五	三三	三五	二二	二〇	三三	一四	五	七
身長	最大	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三
	平均	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三
體重	最大	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三
	平均	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三
胸廓	最大	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三
	平均	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三
胸圍	最大	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三
	平均	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三	一三三三

此表係根據大正二年四月検査の結果を基として、各年齢の體格發育の傾向を示すものである。身長、體重、胸廓、胸圍の各項目について、最大値、最小値、平均値を示す。また、胸圍の測定は、乳頭の高さから行われ、呼吸を止めた状態で測定された。この表は、國民の體格發育の進歩を把握し、衛生行政の参考とするものである。

大正二年四月検査
身長發育對照表

第二表(甲)

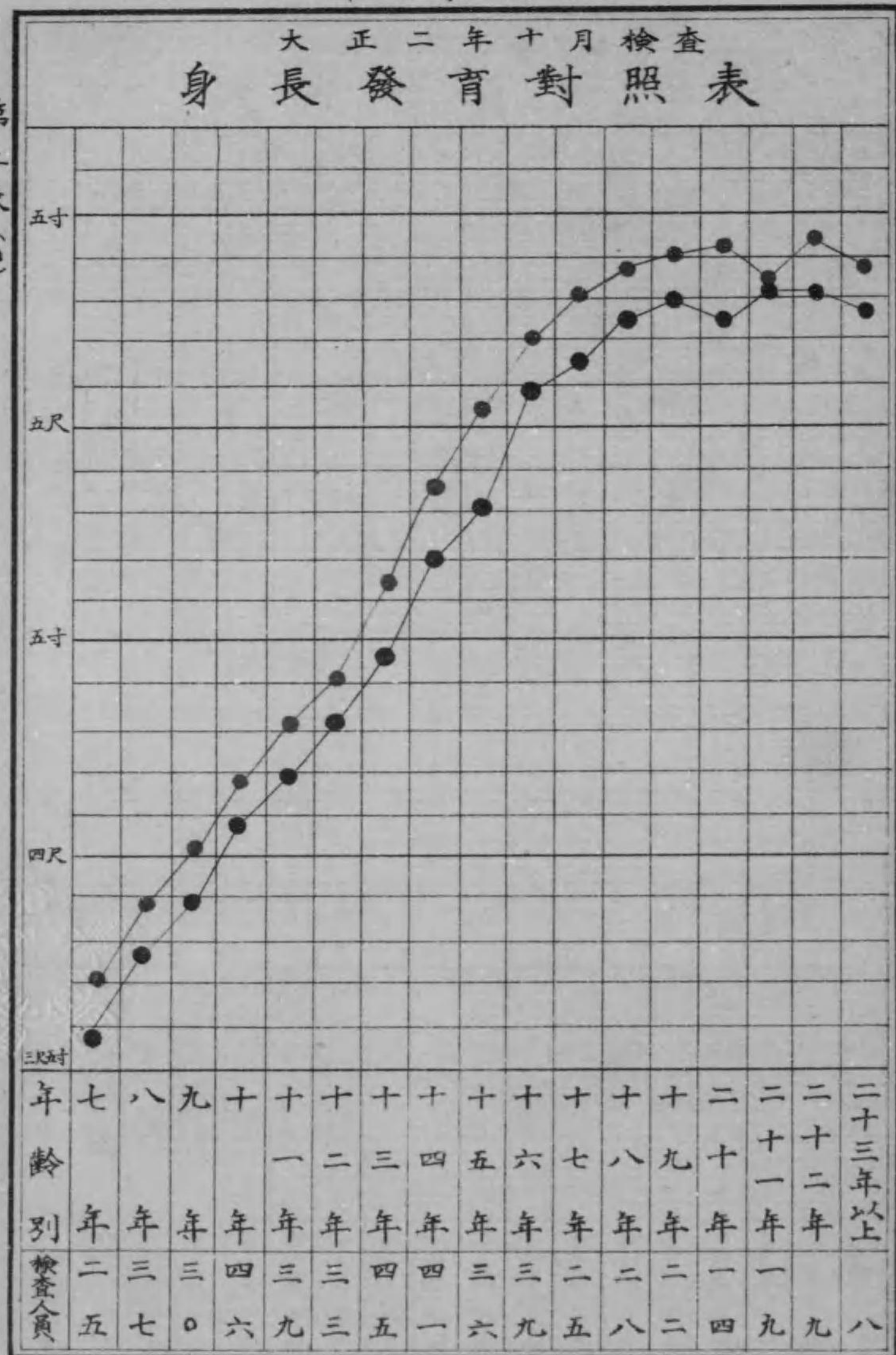


備考 ● 照ハ本院學生ノ發育數ヲ示シ ● 照ハ文部省調査全國學生生徒ノ中等發育數ヲ示ス

(秋季検査)

大正二年十月検査
身長發育對照表

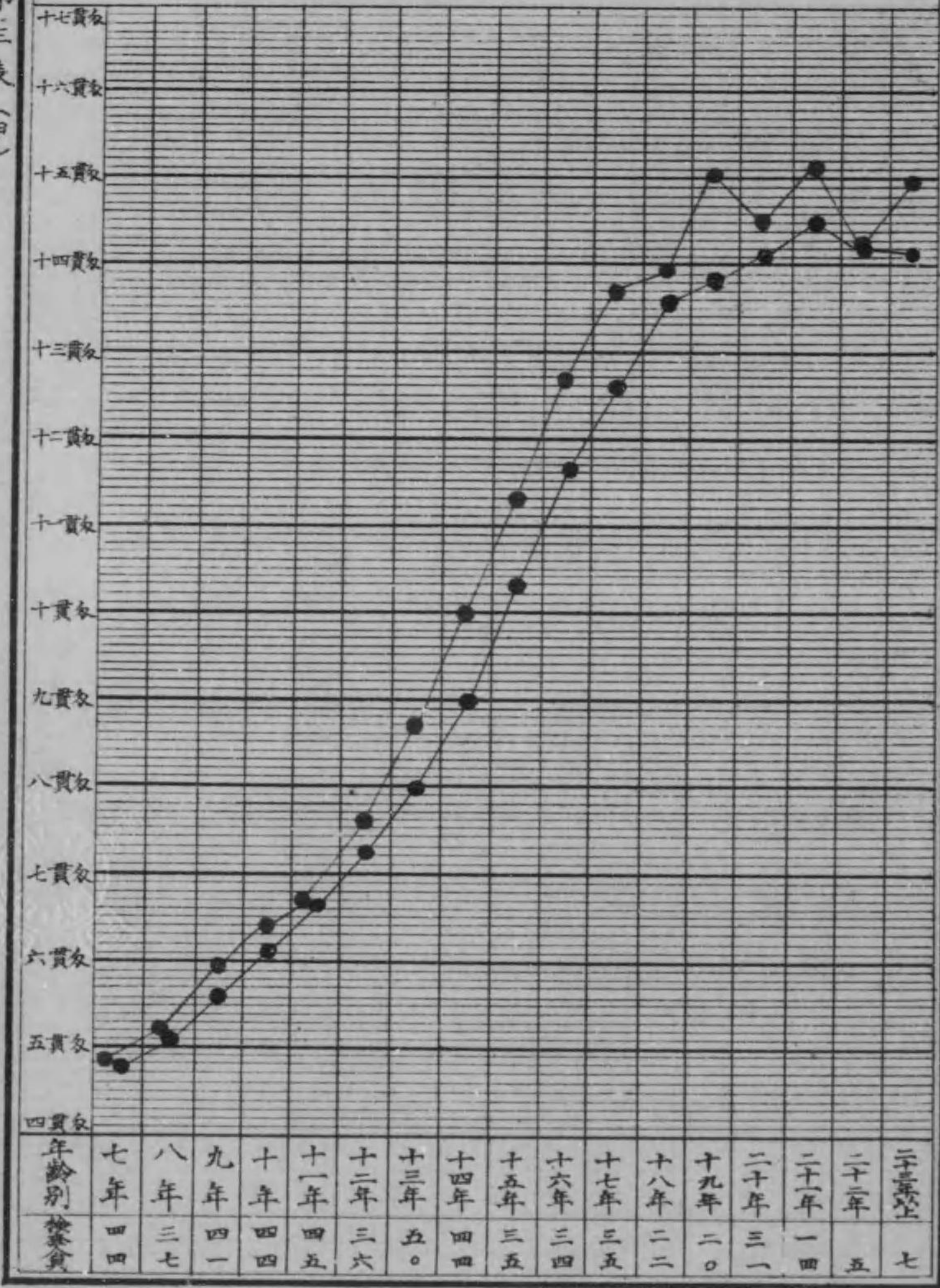
第二表 (乙)



備考 ● 點ハ本院學生ノ發育數ヲ示シ ● 點ハ文部省調査全國學生生徒ノ中等發育數ヲ示ス

第三表(甲)

大正二年四月検査
體重發育對照表

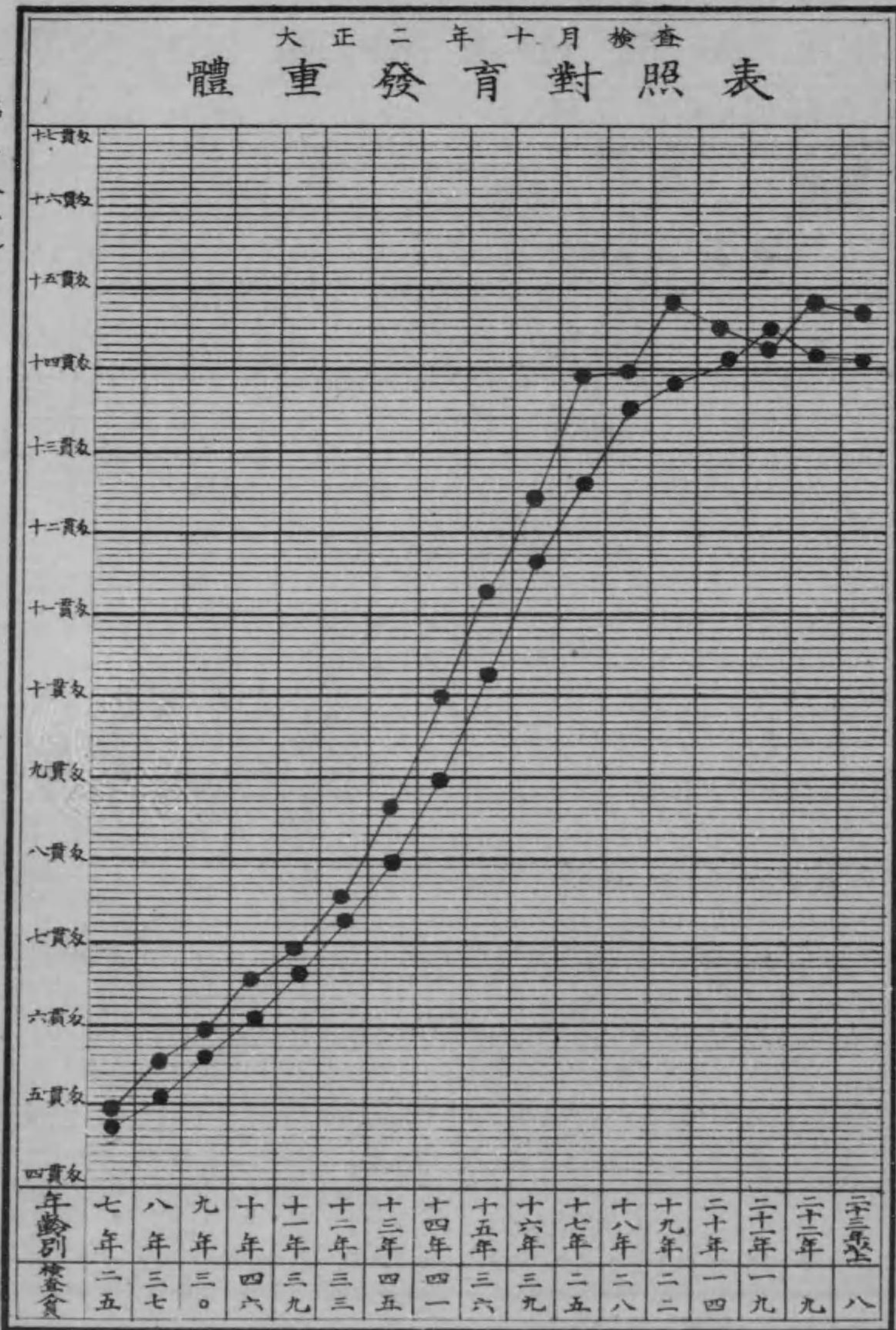


備考 ● 點ハ本校學生ノ發育數ヲ示シ ● 點ハ文部省調査全國學生生徒ノ中等發育數ヲ示ス

(秋季検査)

大正二年十月検査
體重發育對照表

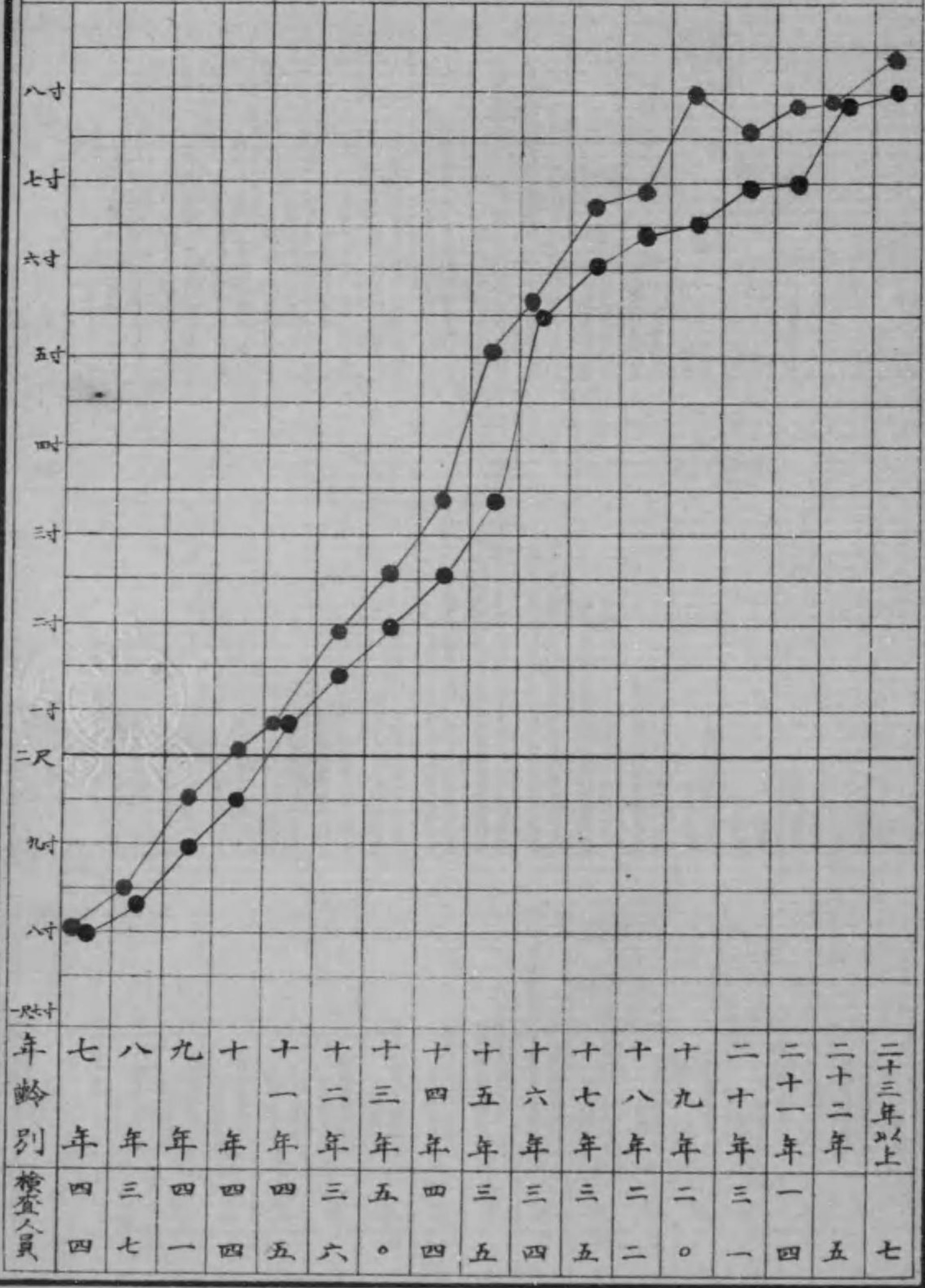
第三表(乙)



備考 ● 點ハ本院學生ノ發育數ヲ示シ ● 點ハ文部省調査全國學生生徒ノ中等發育數ヲ示ス

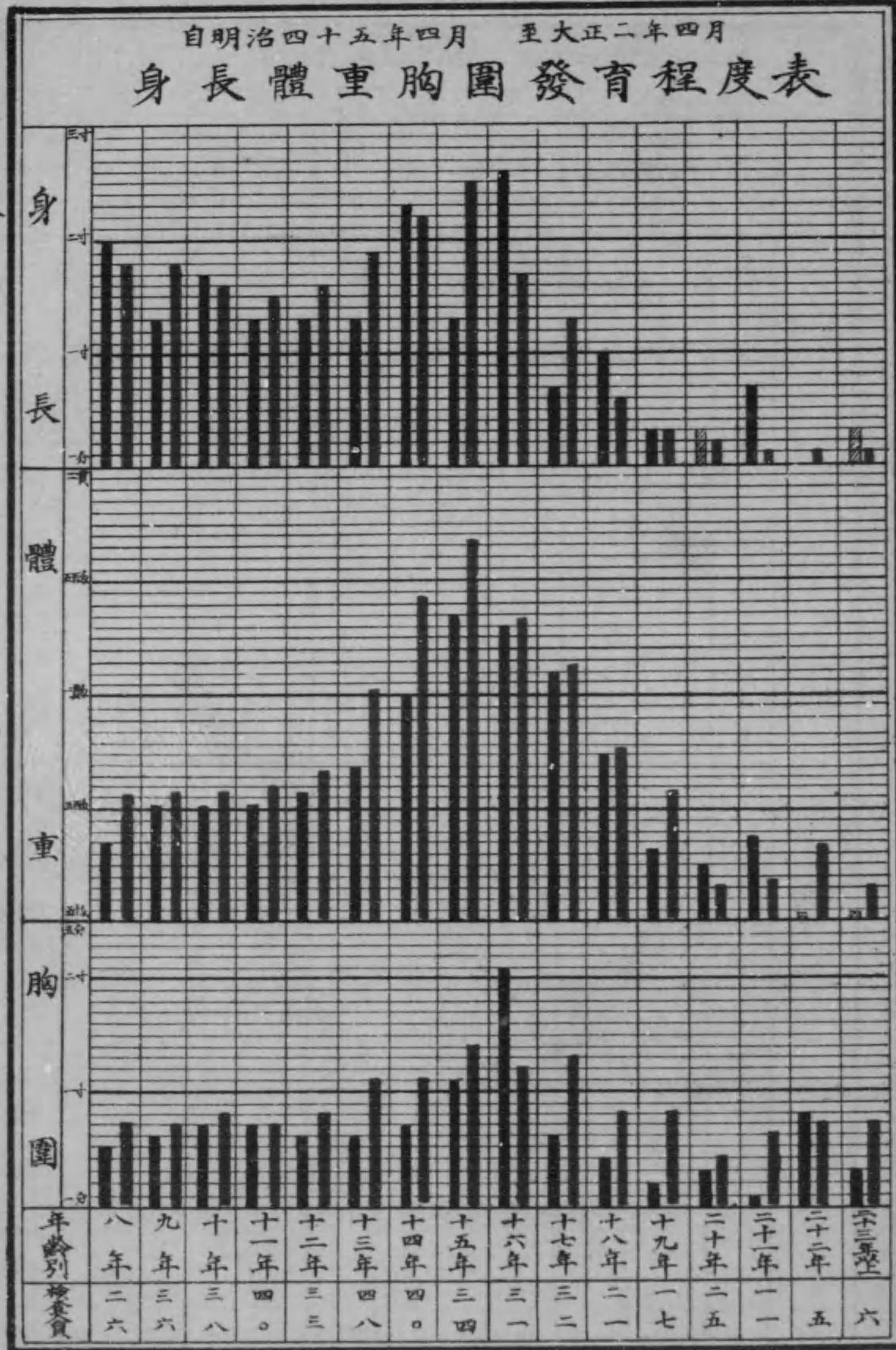
第四表

大正二年四月検査
胸圍發育對照表



備考

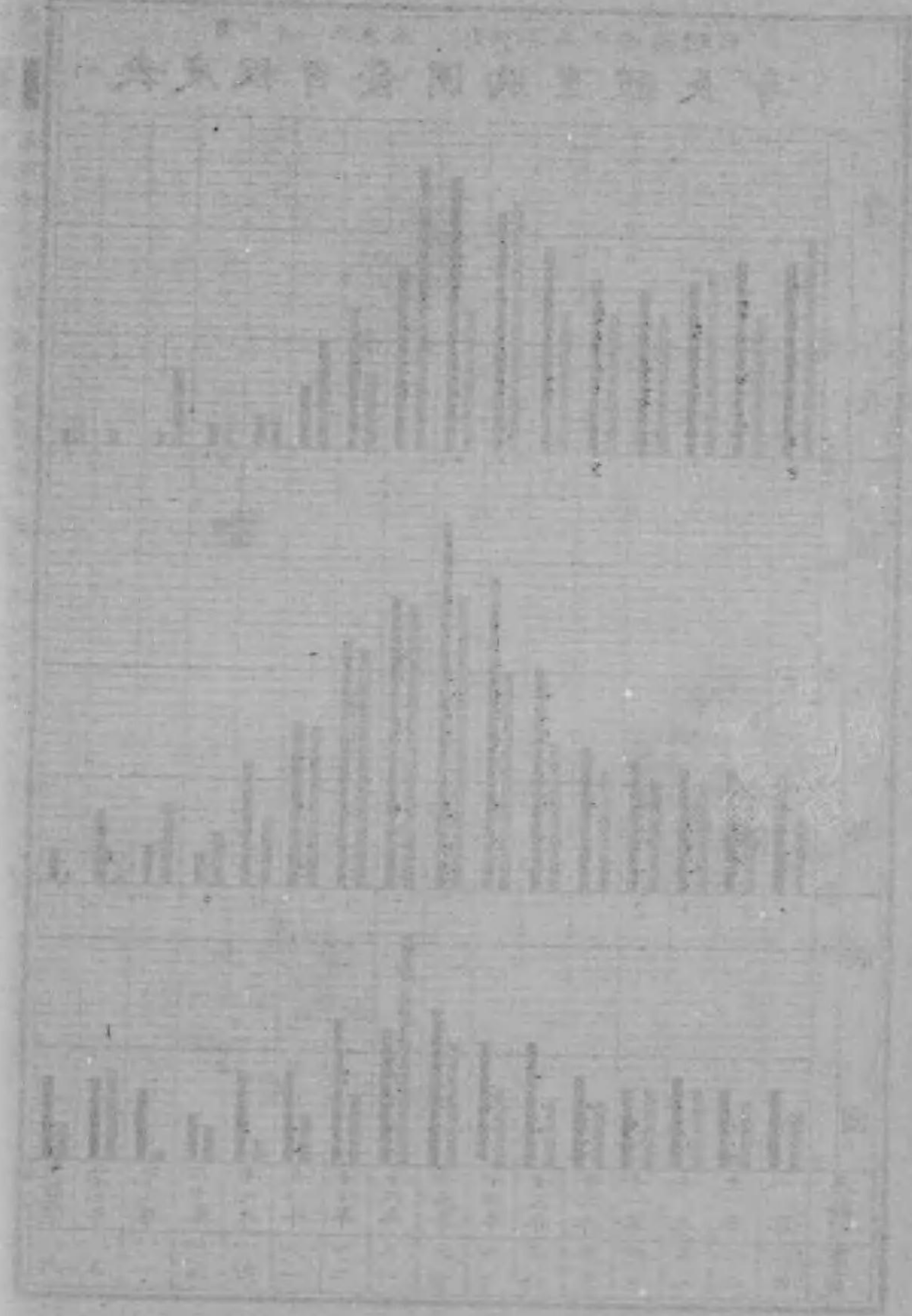
● 點ハ本院學生發育數ヲ示シ ● 點ハ文部省調査全國學生ニ從テ中等發育數ヲ示ス



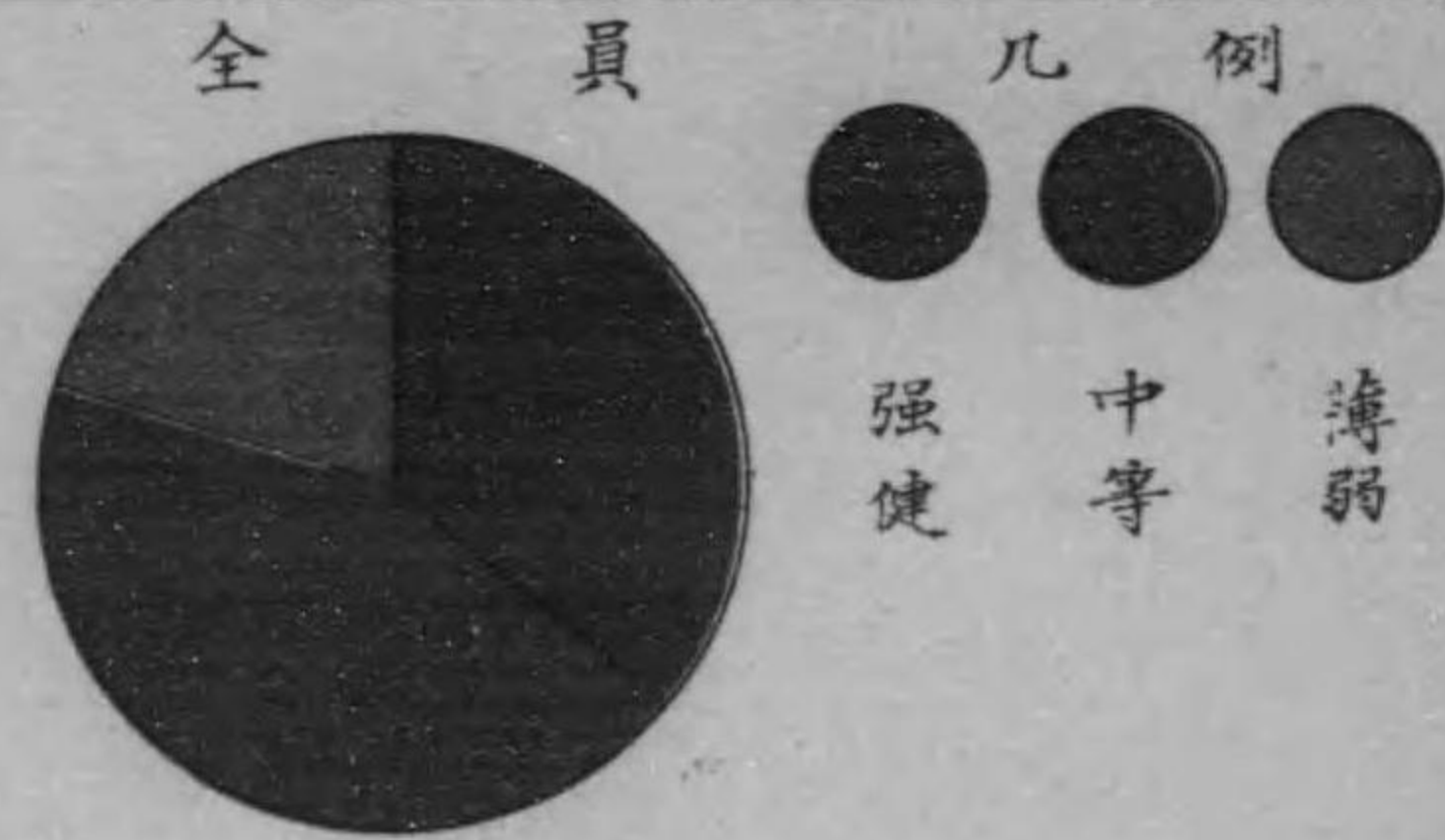
備考
 ■ 八文部省調査ノ全國學生生徒一年間ノ發育程度ヲ示ス
 ■ 八本院學生一年間ノ發育程度ヲ示ス
 ▨ 八其減少セルモノナリ

大正二年四月検査
體格等位統計表 (第六表)

學科	初等學科							中等學科							高等學科				合
	一	二	三	四	五	六	小計	一	二	三	四	五	六	小計	一	二	三	小計	
學級	一年級	二年級	三年級	四年級	五年級	六年級	計	一年級	二年級	三年級	四年級	五年級	六年級	計	一年級	二年級	三年級	計	
検査人員	五二	三三	四八	四七	四三	四一	二六一	五三	四八	四一	三〇	三三	三三	二二五	一八	一八	二二	四八	五四四
強健	六	六	一〇	一一	一一	一四	五九	一九	二三	二二	一八	二〇	一八	一〇九	二二	一一	五	二八	一九六
検査スル人員%	一一・七	一八・七	二〇・八	二五・五	二六・一	三四・四	二二・六	三五・八	二七・〇	五一・三	六〇・〇	六〇・六	六〇・〇	四六・三	六六・六	六一・一	四一・六	五八・三	三六・〇
中等	三〇	一九	三三	二二	二二	二二	一五〇	二六	二〇	一六	一五	一五	一四	七六	四	四	六	一四	二四〇
検査スル人員%	五八・八	五九・三	六六・六	五一・〇	五四・七	五三・六	五七・四	四九・〇	四一・六	三九・〇	一六・六	一五・一	一三・三	三三・三	三三・三	三三・三	五〇・〇	二九・七	四四・三
薄弱	一五	七	六	一	八	五	五二	八	一五	四	七	八	八	五〇	三	三	一	六	一〇二
検査スル人員%	二九・四	二一・八	一二・五	二・三	一九・〇	一二・一	一九・九	一五・〇	三二・五	九・七	二二・三	二四・二	二六・六	二二・八	一一・一	一六・六	八・三	一一・五	一九・八



大正二年四月検査
學生全員體格等位色別表



强健 = 36.03%

中等 = 44.12%

薄弱 = 19.85%

初等學科學生全員

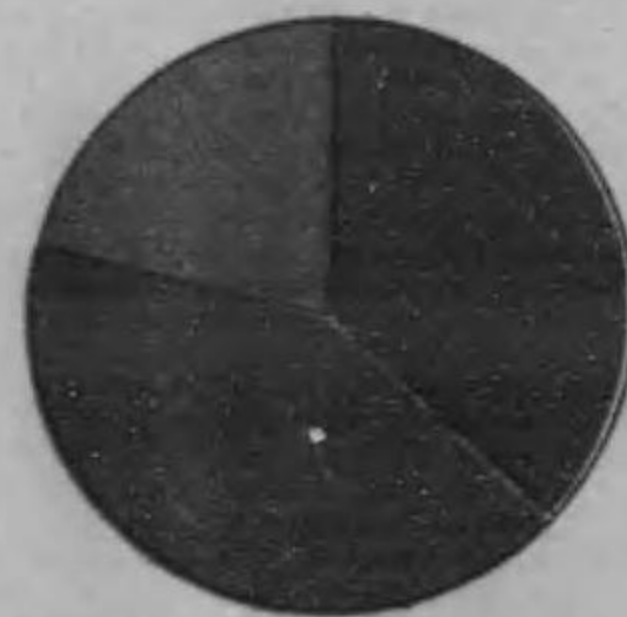


强健 = 22.61%

中等 = 57.47%

薄弱 = 19.92%

中等學科學生全員

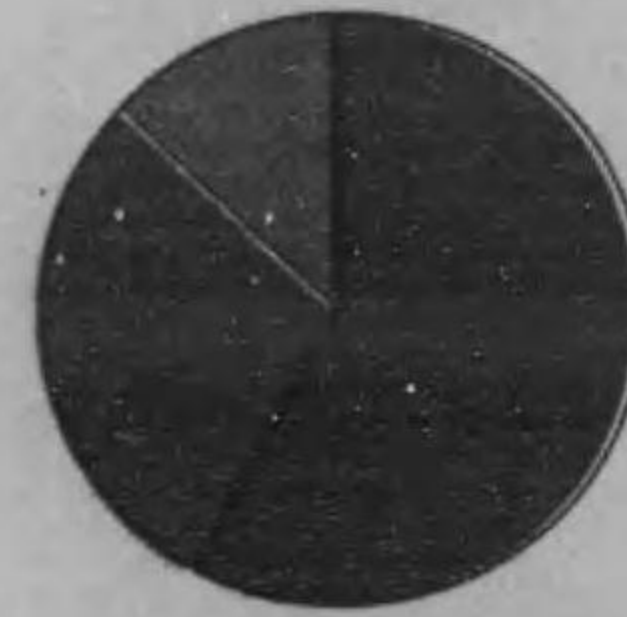


强健 = 46.38%

中等 = 32.34%

薄弱 = 21.28%

高等學科學生全員

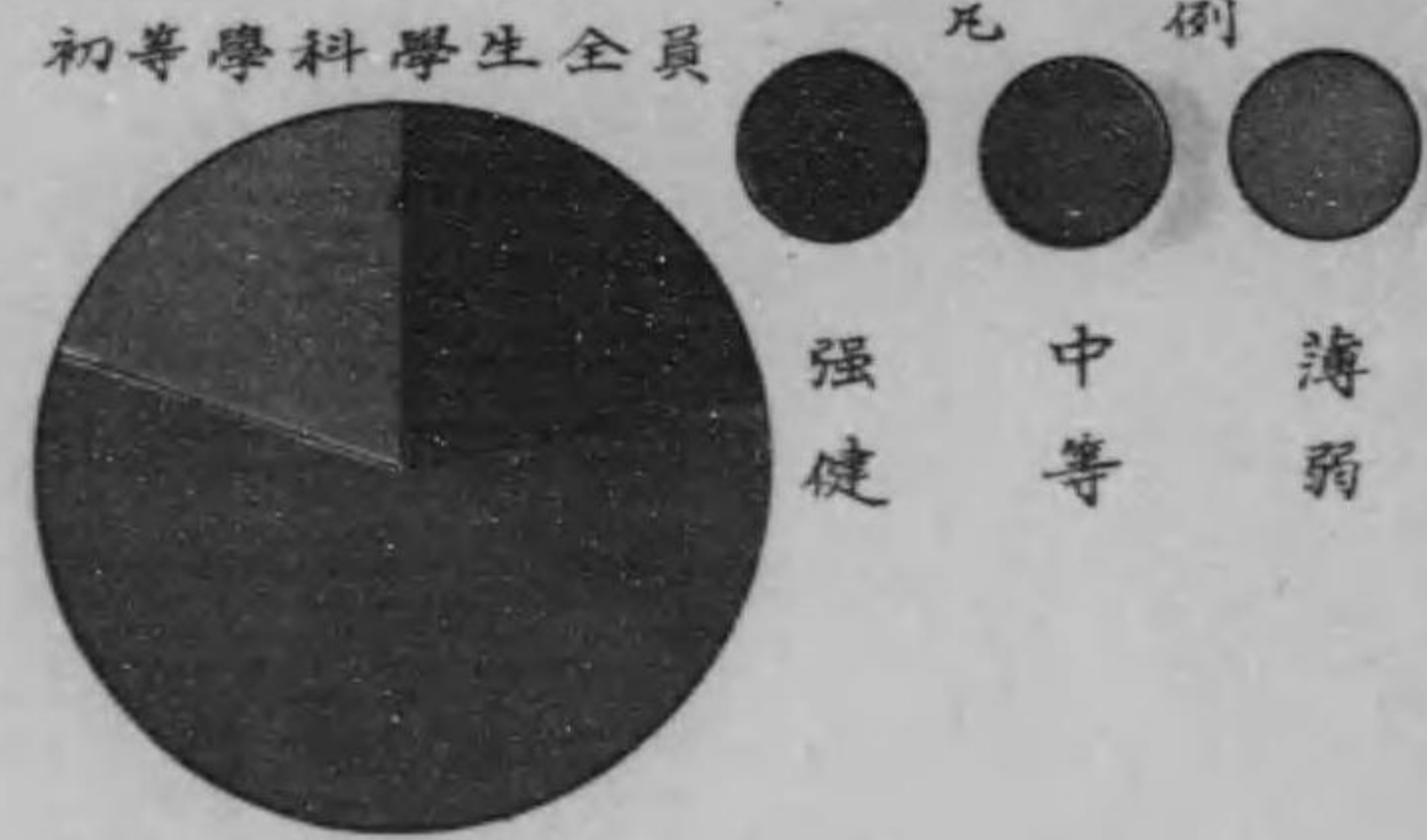


强健 = 52.33%

中等 = 29.17%

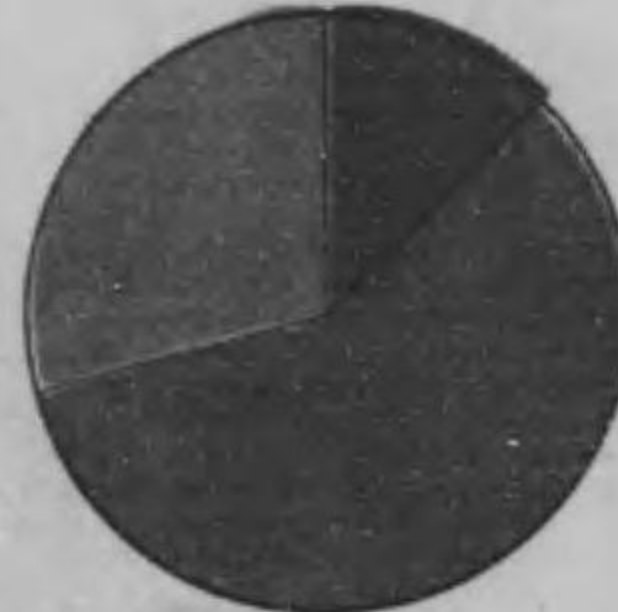
薄弱 = 12.50%

大正二年四月検査
初等學科學生體格等位色別表



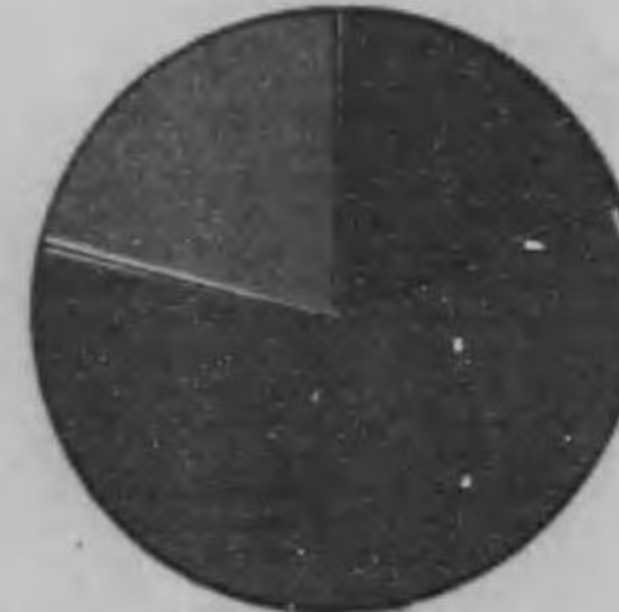
强健 = 22.61%
中等 = 57.47%
薄弱 = 19.92%

壹年級



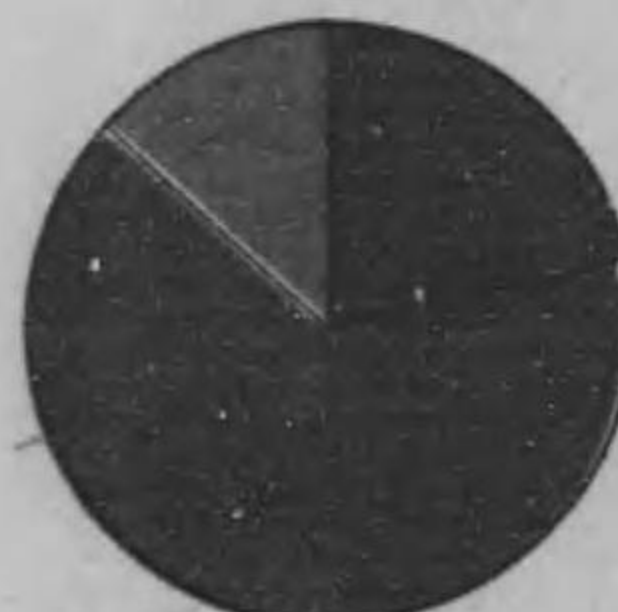
强健 = 11.77%
中等 = 58.82%
薄弱 = 29.41%

貳年級



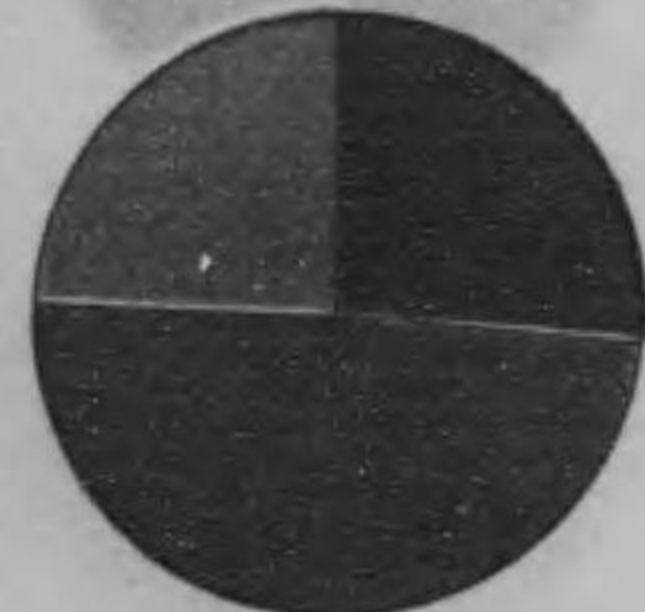
强健 = 18.75%
中等 = 59.38%
薄弱 = 21.87%

參年級



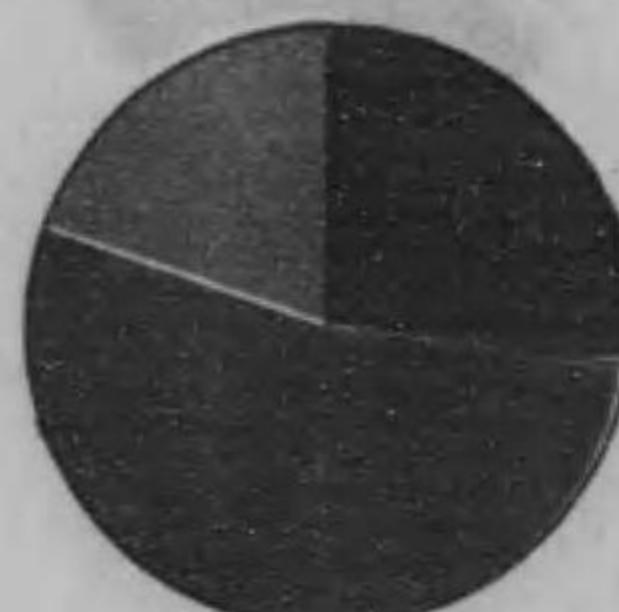
强健 = 20.83%
中等 = 66.67%
薄弱 = 12.50%

肆年級



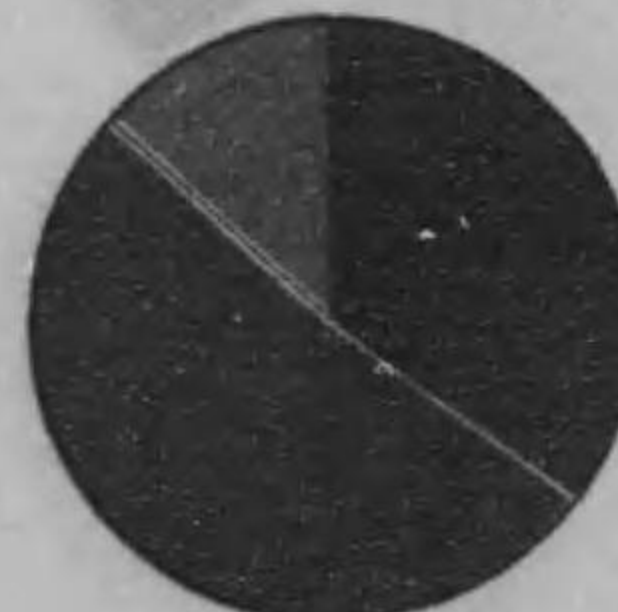
强健 = 25.58%
中等 = 51.06%
薄弱 = 23.40%

伍年級



强健 = 26.19%
中等 = 54.76%
薄弱 = 19.05%

陸年級

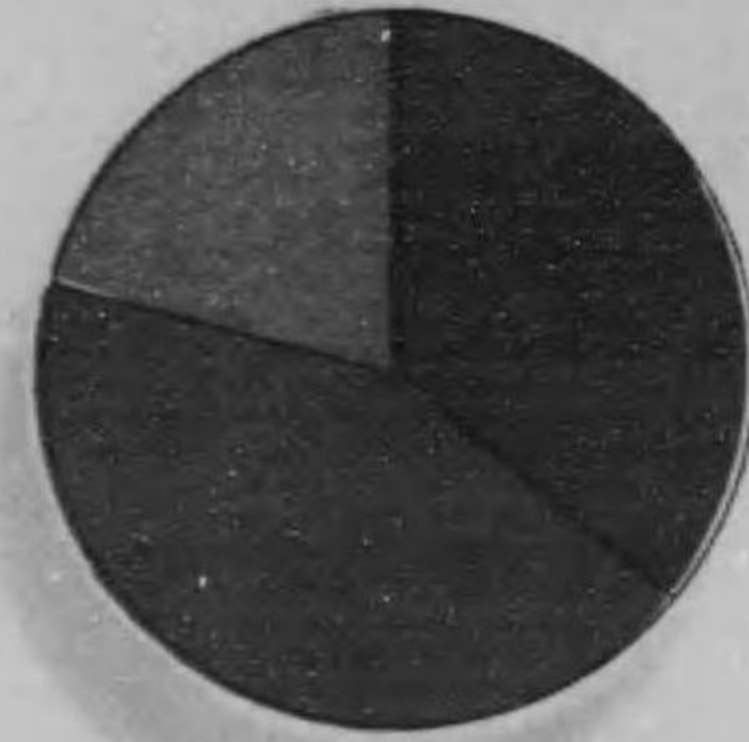


强健 = 34.15%
中等 = 53.56%
薄弱 = 12.19%

大正二年四月検査
中等學科學生體格等位色別表

中等學科學生全員

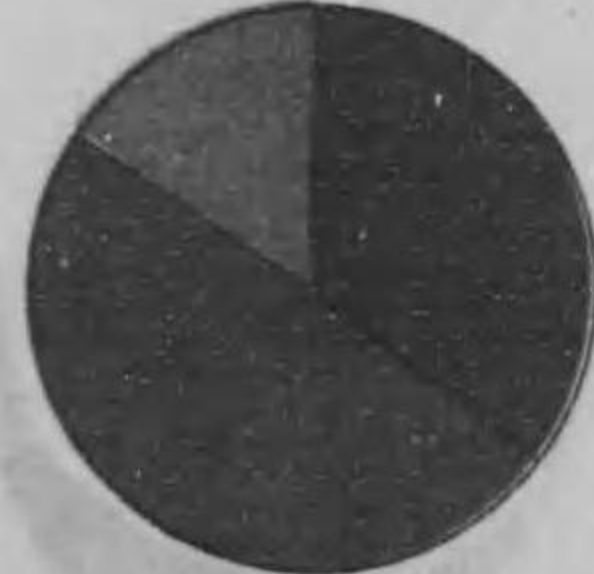
凡例



强健 中等 薄弱

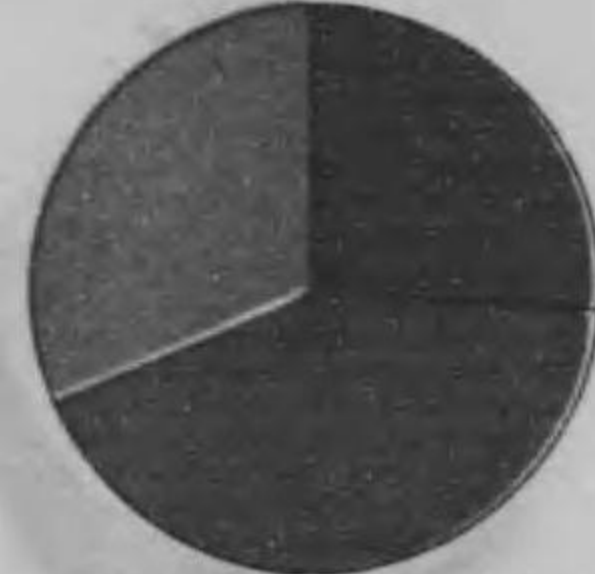
强健 = 46.98%
中等 = 32.34%
薄弱 = 21.28%

壹年級



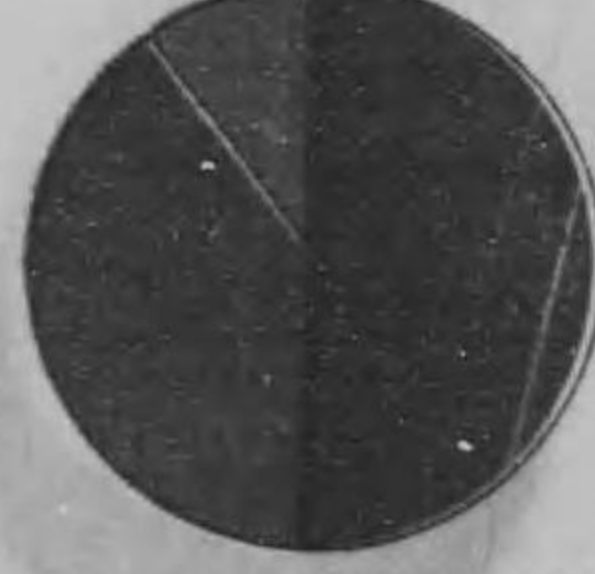
强健 = 35.94%
中等 = 49.06%
薄弱 = 15.09%

貳年級



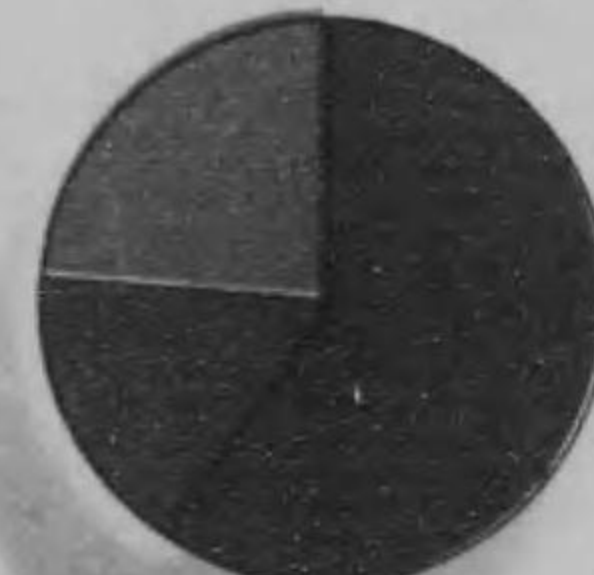
强健 = 27.08%
中等 = 41.67%
薄弱 = 31.25%

參年級



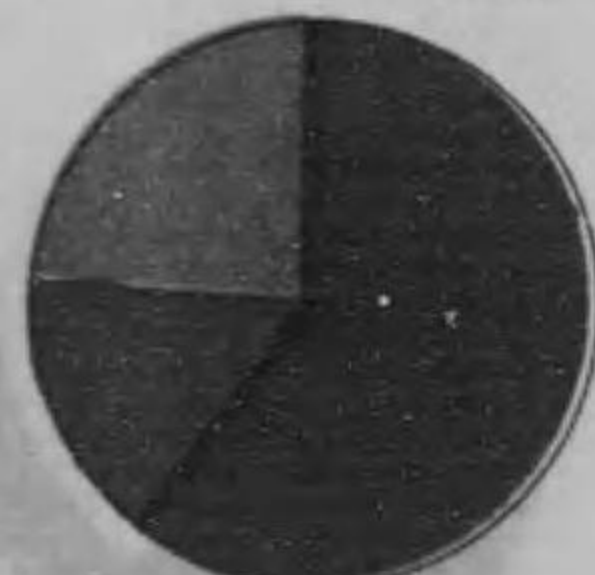
强健 = 51.22%
中等 = 39.02%
薄弱 = 9.76%

肆年級



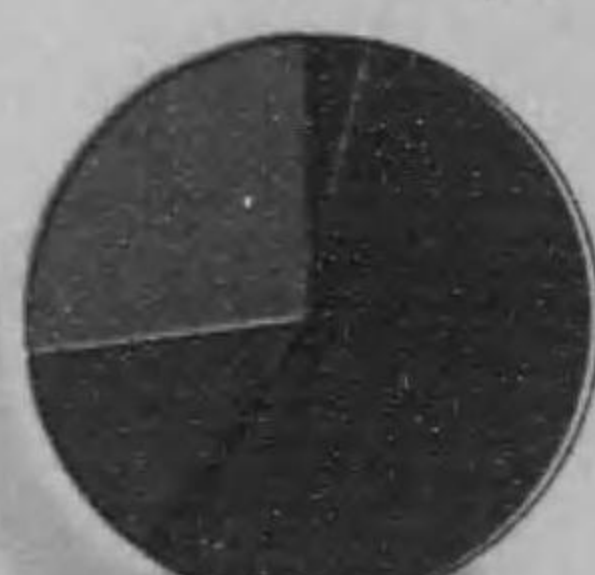
强健 = 60.00%
中等 = 16.67%
薄弱 = 23.33%

伍年級



强健 = 60.61%
中等 = 15.15%
薄弱 = 24.24%

陸年級

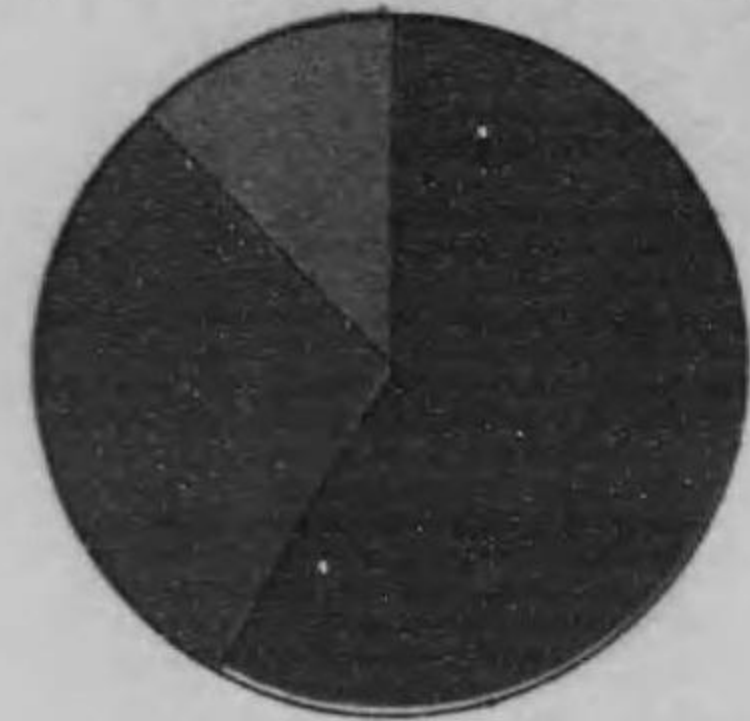


强健 = 60.00%
中等 = 18.53%
薄弱 = 21.47%

大正二年四月検査
高等學科學生體格等位色別表

高等學科學生全負

凡例



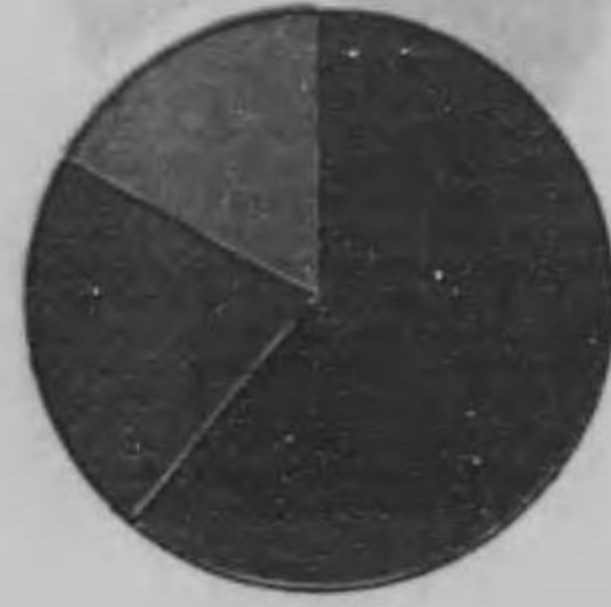
強健 = 58.33%
中等 = 29.17%
薄弱 = 12.50%

壹年級



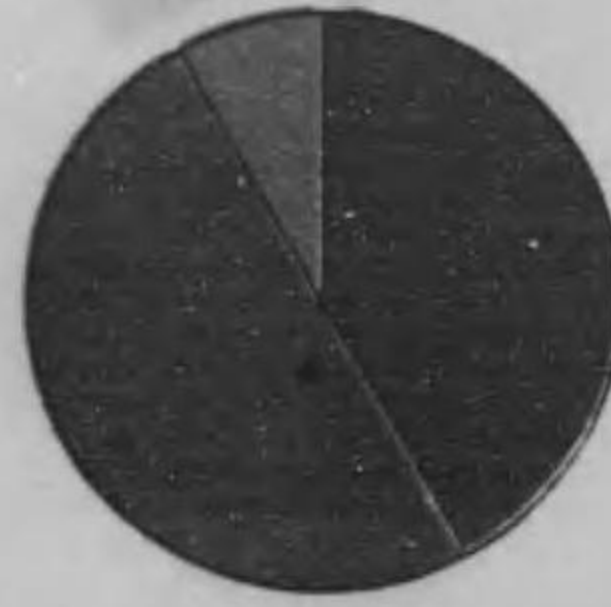
強健 = 66.67%
中等 = 22.22%
薄弱 = 11.11%

貳年級



強健 = 61.11%
中等 = 22.22%
薄弱 = 16.67%

參年級



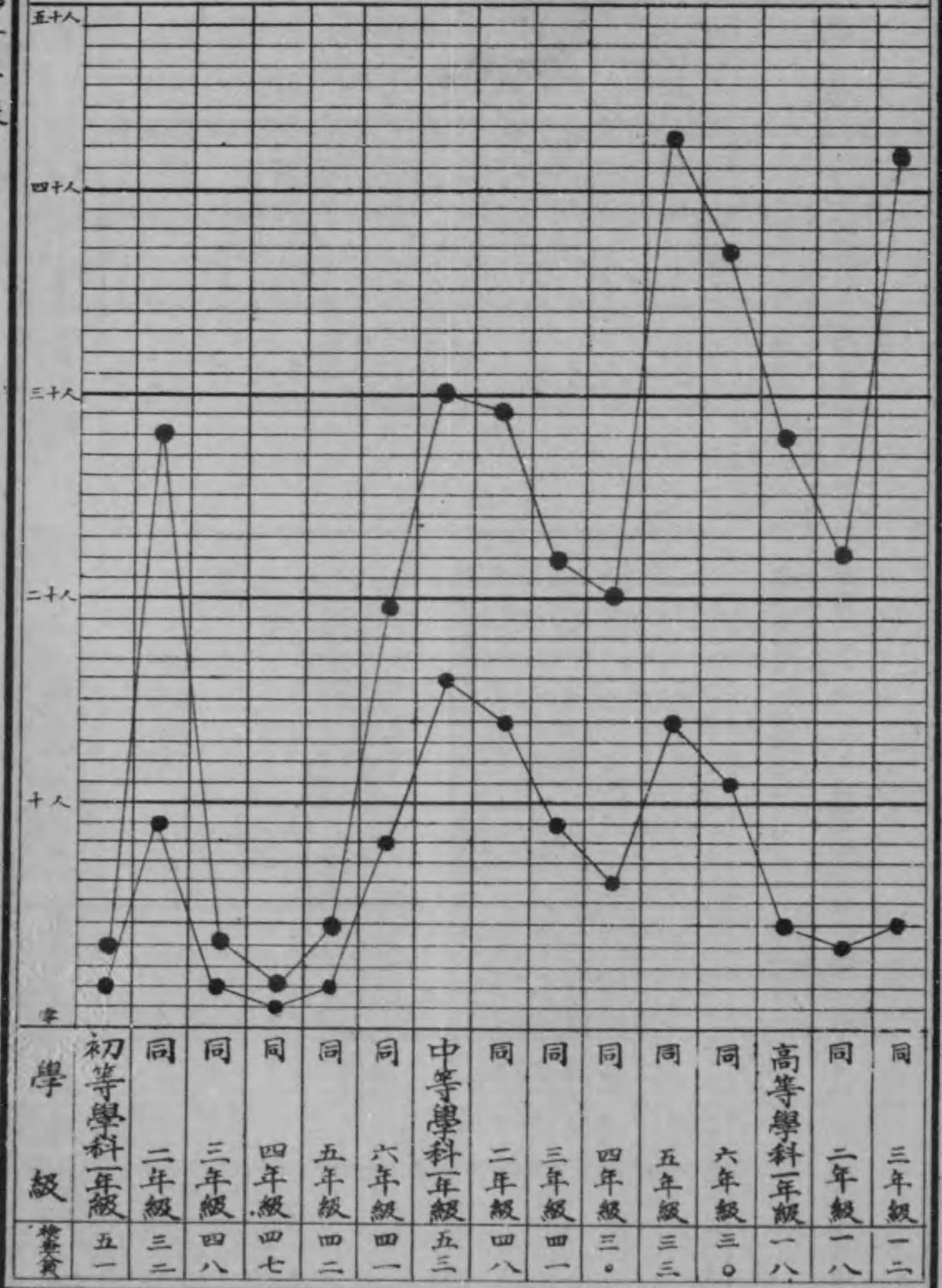
強健 = 41.67%
中等 = 50.00%
薄弱 = 8.33%

大正二年四月検査
眼科及耳鼻咽喉科患者統計表 (第十二表)

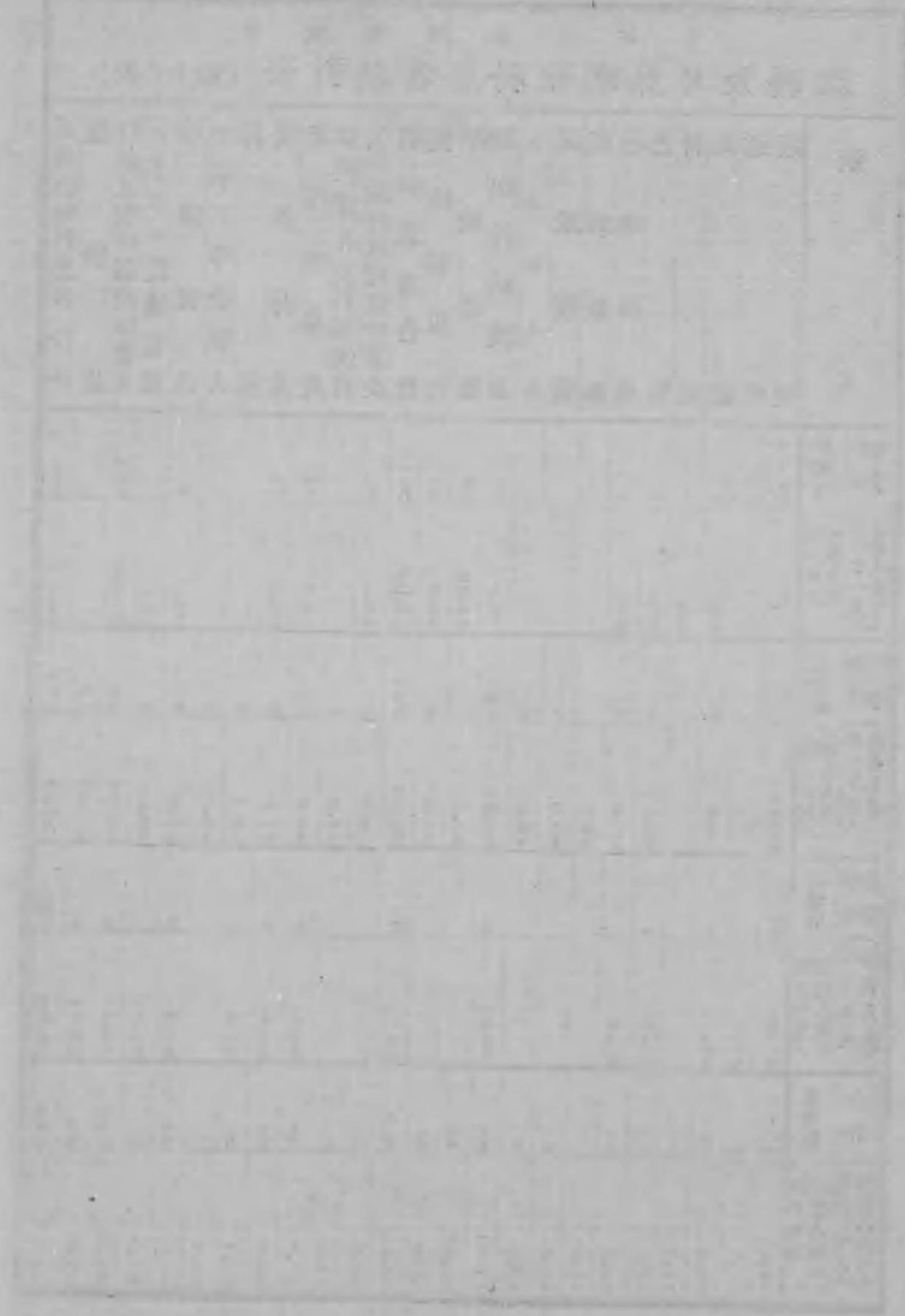
病名	初等科 (百六十一人)		中等科 (百三十五人)		高等科 (四十八人)		合計 (百四十四人)	
	患者数	対スル%	患者数	対スル%	患者数	対スル%	患者数	対スル%
耳鼻咽喉科患者合計	135	51.73	161	68.50	35	72.92	331	60.84
咽頭炎	101	38.69	72	30.64	7	14.58	180	33.09
口蓋及咽頭扁桃腺肥大	1	0.38	1	0.43	1	2.08	3	0.55
中隔下甲介肥	1	0.38	1	0.43	1	2.08	3	0.55
中隔下甲介肥大	1	0.38	1	0.43	1	2.08	3	0.55
鼻性鼻炎	10	3.83	9	3.83	8	16.67	27	4.96
肥厚性鼻炎	1	0.38	2	0.85	1	2.08	4	0.74
鼓膜穿孔及石灰沈着	1	0.38	1	0.43	1	2.08	3	0.55
慢性急性及乾性中耳炎	5	1.92	1	0.43	1	2.08	7	1.28
眼科患者合計	138	52.87	147	62.55	30	62.50	315	57.90
慢性結膜炎	138	52.87	147	62.55	30	62.50	315	57.90
濾胞性結膜炎	17	6.51	3	1.28	7	14.58	27	4.96
學性結膜炎	63	23.14	3	1.28	1	2.08	67	12.35
トハラホム	1	0.38	2	0.85	1	2.08	4	0.74
眼震	1	0.38	1	0.43	1	2.08	3	0.55
虹彩	1	0.38	1	0.43	1	2.08	3	0.55
色弱	8	3.07	1	0.43	1	2.08	10	1.83
斜視	8	3.07	1	0.43	1	2.08	10	1.83
亂視	1	0.38	1	0.43	1	2.08	3	0.55
遠視	1	0.38	1	0.43	1	2.08	3	0.55
近視	24	9.11	70	29.79	14	29.17	108	19.85
合計	135	51.73	161	68.50	35	72.92	331	60.84

大正二年四月検査
近視者一覽表

第十三表



備考 ● 點、近視學生ノ數ヲ示シ ● 點ハ百分比例數ヲ示ス



大正二年四月検査
齒牙統計表(第十四表)

年齢	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	合計
検査人員	四	三	四	四	四	五	四	三	三	三	三	三	三	三	三	三	五
齒牙總數	九五四	八三八	九三六	一〇三三	一〇四〇	八八八	一〇八四	一〇八四	九五四	一〇三三	一〇三三	一〇三三	一〇三三	一〇三三	一〇三三	一〇三三	一〇三三
成齒數	一一七	二五二	四四七	六〇八	七七六	七九五	一〇二七	一〇二七	九五四	一〇三三	一〇三三	一〇三三	一〇三三	一〇三三	一〇三三	一〇三三	一〇三三
過剩																	
%																	
拔去																	
%																	
齲齒																	
%																	
其他病穿																	
%																	
乳齒殘存																	
%																	

備考
即チ一二六九%トナル
充填其他ノ治療セル齒牙ハ殆ド總テ齲齒ナリシモノナリ故ニ之ヲ現在ノ齲齒ト合スレバ一千四百二十六個
乳齒ノ齲蝕セルモノハ齲齒中ニ算入セズ
乳齒殘存數ハ齒牙總數ニ付キテ%ヲ算出シ其他ハ皆成齒數ニ付キテ%ヲ算出セリ

○輔仁會規則(明治三十六年五月五日改正)

第一章 總則

第一條 本會ヲ名ケテ學習院輔仁會ト云フ

第二條 本會ハ本院ニ下シ賜リタル 勅諭旨ヲ奉體シ院長監督ノ下ニアリテ

互ニ相親和シ高尙ナル智德ヲ涵養シ且ツ體育ヲ獎勵スルヲ以テ目的トス

第三條 本會ノ目的ヲ達センカ爲メ左ノ諸部ヲ置ク(大正二年二月二十日日本條中改正)

○編纂部

○研究部(邦國語部 外國語部)

○水上部

○陸上部

○會務部

各部細則ハ別ニ之ヲ定ム

第四條 本會ハ一年ニ二回大會ヲ開ク

第五條 本會ハ會員ト慶弔喜憂ヲ共ニセン爲メ相當ノ方法ヲ以テ誠意ヲ表スルモノトス又入會者ヲ迎へ退院者(會員中ノモノ)ヲ送ラン爲メ便宜ノ時ヲ選ヒ入會及送別ノ式ヲ行フ

第六條 本會ノ會計ハ明治三十五年十二月學習院長ヨリ發セラレタル達示ニヨルモノトス

第七條 本會規則ハ第二十四條總會ノ議決ヲ經且ツ會長ノ認可ヲ經ルニアラサレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス(明治三十七年十二月二十三日日本條改正)

第二章 會員

第八條 本會ハ左ノ會員ヲ以テ組織ス(同本條中改正)

- 名譽會員 本院中等學科以上ニ御在學ノ皇族殿下並ニ本院長
- 贊成會員 本院教職員
- 通常會員 本院中等學科以上ノ學生
- 名譽客員 本會名譽會員ニシテ本院ヲ去ラレタルモノヲ推戴ス
- 客員 別ニ內規ヲ定ム

第九條 會員ニシテ本會ニ關シ意見ヲ有スル者ハ何時ニテモ之ヲ副會長ニ申出ツルコトヲ得

第十條 本會通常會員ハ會費トシテ定額ノ金額ヲ納ムルモノトス(同)

第三章 役員

第十一條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク(大正二年二月二十日日本條中改正)

- 會長 一名 院長ヲ推戴ス
- 副會長 一名 贊成會員中ヨリ會長之ヲ囑託ス
- 會計主任 一名 同上
- 評議員 若干名 同上
- 委員 廿一名 定規ノ法ニヨリ選舉シテ之ヲ定ム
- 編纂部 四名 研究部 八名(邦語部三名 外國語部五名)
- 水上部 三名 陸上部 六名
- 會務委員 四名 同上
- 代表員 中等學科以上各級ニ二名 同上

第十二條 會長ハ本會ヲ總理ス(明治三十七年十二月二十三日日本條追加)

第十三條 副會長ハ會長ヲ輔佐シテ一切ノ會務ヲ掌理ス(同)

第十四條 會計主任ハ本會出納事務ヲ掌リ本會會計ニ關シ責任ヲ有ス

第十五條 評議員ハ各部ニ分任シ其部委員ノ商議ニ參與シ兼テ之カ監督ノ責ニ當ル(同)

第十六條 評議員ノ任期ハ三箇年トス(同四十四年三月十三日日本條追加)

但シ再任スルコトヲ得

第十七條 各部委員ハ副會長ノ下ニアリテ所屬各部ノ細務ヲ掌ル(同)

第十八條 會務委員ハ副會長ノ下ニ記録物品ノ調製並ニ保管整理ヲ掌リ且ツ其他一般ニ本會ノ名ニ於テ行フ一切ノ事項ヲ處理ス

第十九條 代表員ハ所屬級ヲ代表シ其意見ヲ申告シ又ハ本會ノ意圖ヲ通達スルノ任ニ當ル(同)

第二十條 委員會務委員及代表員ノ任期ハ一箇年トシ毎年四月ニ改選ヲ行フ但シ再選スルコトヲ得

委員及代表員ハ兼任スルコトヲ得ス

委員及代表員ニ缺員ヲ生シタルトキハ更ニ選舉シテ之ヲ定ム

第四章 會議及議決

第二十一條 本會ニ總會委員總會及各部委員會ヲ置ク

第二十二條 總會ハ副會長之ヲ招集シ各部委員及代表員ヲ以テ組織ス

但シ會計主任及評議員ハ總會ニ參列スルモノトス(同三十七年十二月廿三日但書追加)

總會ニ於テハ本規則ノ變更其他本會ニ關シ重要ナル事項ヲ議決シ又ハ副會長ノ必要ト認ムル場合ニ之ヲ開クモノトス

猶ホ委員總會及各部委會ノ請求ニヨリ副會長之ヲ招集スルコトアルヘシ

第二十三條 總會招集ノ通知ハ其時日理由議案目的等ヲ示シ開會五日前ニ於テ之ヲ發ス

但シ緊急ノ場合ハ此限ニアラス

第二十四條 總會議事整理其他ノ爲メ副會長ハ之カ議長タリ

委員總會ニ於テハ議長ハ副會長若クハ副會長ノ指名シタル者之ニ當ル

第二十五條 都テ會議ハ定員三分ノ二以上ノ出席ヲ要シ議決ハ出席員數ノ過半數ヲ以テ之ヲ定ム

可否同數ナルトキハ議長之ヲ決ス

第二十六條 總會及委員總會ノ議事要領及決議ハ之ヲ記錄ニ存シ副會長ノ檢閲ヲ經テ之ヲ保存ス

第二十七條 委員總會ノ招集ハ各部委員會ノ請求又ハ必要ノ場合ニ於テ副會長之ヲ行フ

第二十八條 委員總會ハ本會各部豫算編成臨時支出及第四第五條ニ關シ時日方法等其他本會一般ニ關スル事項ヲ議決ス

第五章 庶務會計

第二十九條 通常會員ノ納ムル會費ハ一箇年金四圓トス

會長及贊成會員ハ本會補助費トシテ各員俸給ノ百五十分ノ一ヲ納ムルモノトス(同四十年一月八日改正)

第三十條 會計主任ハ毎年七月及十二月ノ二期ニ分チ本會雜誌ニ於テ之カ決算

報告ヲナスヘシ(同三十七年十二月二十三日日本條中削除)

第三十一條 會計帳簿ハ委員ノ請求ニヨリ何時ニテモ閱覽セシムルコトヲ得

第三十二條 毎年度ノ終ニ於テ該年度總收入ヨリ各部總支出ヲ引去リタル殘額ハ一定ノ法ニヨリ之ヲ本會積立基金トス

第三十三條 本會ニ對スル寄贈ハ其寄贈者ニ於テ特ニ指定ナキ場合ニ限り委員總會ノ決議ヲ經テ之ヲ適宜ノ用途ニ充テ若クハ積立基本金ニ編入ス

第三十四條 積立基金ノ支出ハ委員總會ノ決議ヲ經ルヲ要ス

附則

本規則中ノ改正ハ明治三十八年一月一日ヨリ之ヲ實施ス(同三十七年十二月二十三日日本條修正)

○輔仁會客員ニ關スル內規(明治四十年六月改定)

第一條 左ノ諸項ノ何レカニ該當スルモノハ客員タルコトヲ得

一 贊成會員(本院職員)ニシテ本院ヲ去ラレタル者

二 本院大學科高等學科又ハ中等學科ヲ卒業シタル者

輔仁會客員ニ關スル內規

三 三箇年以上通常會員タリシ者

第二條 客員ノ姓名ハ客員名簿ニ登載シ左ノ諸項ヲ併記ス

一 住所

一 職業(在學中ノモノハ其ノ校名)

一 加入年月日

一 備考

第三條 客員ニシテ姓名住所及職業ヲ變シタルトキハ速ニ其ノ旨ヲ本會ニ通知スヘシ

第四條 客員ニハ雜誌ヲ配布シ且ツ本會諸集會ノ通知ヲ發ス

第五條 客員ハ會費トシテ一箇年間金貳圓ヲ納附スヘシ但シ納期ハ之ヲ春秋二回トシ其ノ都度市内ハ本會ヨリ集金人ヲ出ス

但シ本院出身者ニシテ此ノ改定内規ニ該當セサルモノハ之ヲ准客員ト看做ス

第六條 客員ニシテ金貳拾圓以上ヲ即納セル者ハ終身客員トナス(明治四十三年五月二十三日本

加條道)

附則

第一條 三箇年以上賛成會員タリシモノハ本院ヲ去ラレタル後滿一年間會費ヲ要セスシテ客員ノ待遇ヲ受ク

第二條 賛成會員ニシテ三箇年以上本會評議員タリシ者ハ滿二年間前條ノ待遇ヲ受ク

○輔仁會委員選舉法

第一條 委員選舉事務ハ副會長之カ長トナリ前期委員中ヨリ副會長ノ指名ニヨレル選舉掛ヲシテ之ヲ掌ラシム

第二條 各部委員ハ中等學科三年級以上ノ通常會員中ヨリ互選シテ之ヲ定ム

但シ水上部委員ハA、B、Cノ各組ヨリ一名ツ、ヲ選出スヘキモノトス(大正三年四月三日修正日本)

第三條 編纂部、研究部、陸上部、水上部ノ會務委員ハ委員ノ互選ニヨリテ之ヲ定ム

第四條 代表員ハ各級ヨリ互選シテ之ヲ定ム

第五條 各部委員當選者ニシテ止ムヲ得サル事情ノ爲メ辭任セントスルモノアル時ハ發表當日ヨリ一週間以内ニ副會長ノ承諾ヲ受クヘシ此場合ニ於テハ其次點者ヲ以テ當選者トス

○輔仁會會費徵收手續(明治三十六年十月二十五日定)

第一條 本會通常會員ハ本會規則第十條同第二十九條ニ基キ會費(簡年金四圓)ヲ左ノ三期ニ分チ保證人ヨリ納付スヘキモノトス(大正三年四月十日日本條中改正)

第一期 金壹圓參拾錢 每年四月二十五日限

第二期 金壹圓四拾錢 每年九月二十五日限

第三期 金壹圓參拾錢 每年一月二十五日限

第二條 會費ハ其理由ノ如何ヲ問ハス休學中ト雖モ之ヲ徵收ス

第三條 會費納付期限後三十日以上納付ヲ怠リタルトキハ之ニ對シ本會ハ內規ニ依リ處分ヲナスヘシ

○輔仁會役員

會 長	子爵 大 迫 尙 敏
副 會 長	大 森 金 五 郎
會 計 主 任	松 井 安 三 郎
各 部 評 議 員	
編 纂 部	藤 澤 周 次
編 纂 部	大 野 木 克 豐
研究部邦語部	岡 田 正 之
研究部外國語部	熊 本 謙 二 郎
研究部外國語部	高 橋 周 而
研究部外國語部	青 柳 良 介
水上部	鳥 野 幸 次
陸上部	服 部 他 助

輔仁會役員

會務評議員

松	松	戶	福	內	相	中	市	板	相	園
井	元	田	藤	馬	川	來	倉	馬	池	公
安	泰	康	政	廣	興	政	勝	正	功	功
三	雄	定	邁	胤	功	雄	富	胤		
郎										

同

水上部

陸上部

同 同 同 外 同 同 邦
國 語 部 語 部

研究部

各部委員
編纂部

島	京	有	士	鳥	淺	三	寺	大	戶	酒
津	極	馬	井	居	野	好	島	岡	田	井
久	高	純	利	忠	長	東		忠	忠	忠
範	修	長	安	博	武	一	潛	綱	孝	正

會務委員

編纂部
研究部
水上部
陸上部

酒井忠正
有馬純長
板倉勝富
中川興功

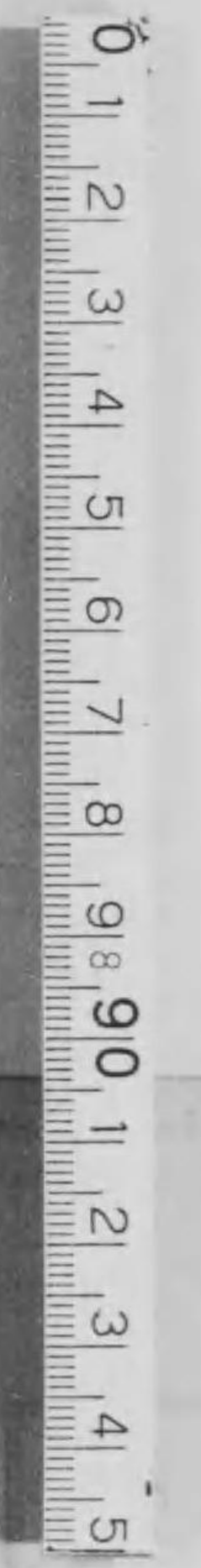
○輔仁會記事摘要

自大正二年三月至大正三年四月

大正二年

- 一 四月五日隅田川上流ニ於テ端艇練習競漕會ヲ舉行ス
- 二 同月八日山階宮芳麿王殿下久邇宮朝融王殿下ヲ本會名譽會員ニ推戴ス
- 三 六月一日多摩川丸子渡ニ遠足會ヲ催ス
- 四 同月二十四日輔仁會雜誌第九十號ヲ發行ス
- 五 九月十三日乃木院長記念寫真帖ヲ出版ス
- 六 十月十八日輔仁會大會ヲ本院正堂ニ於テ開催ス

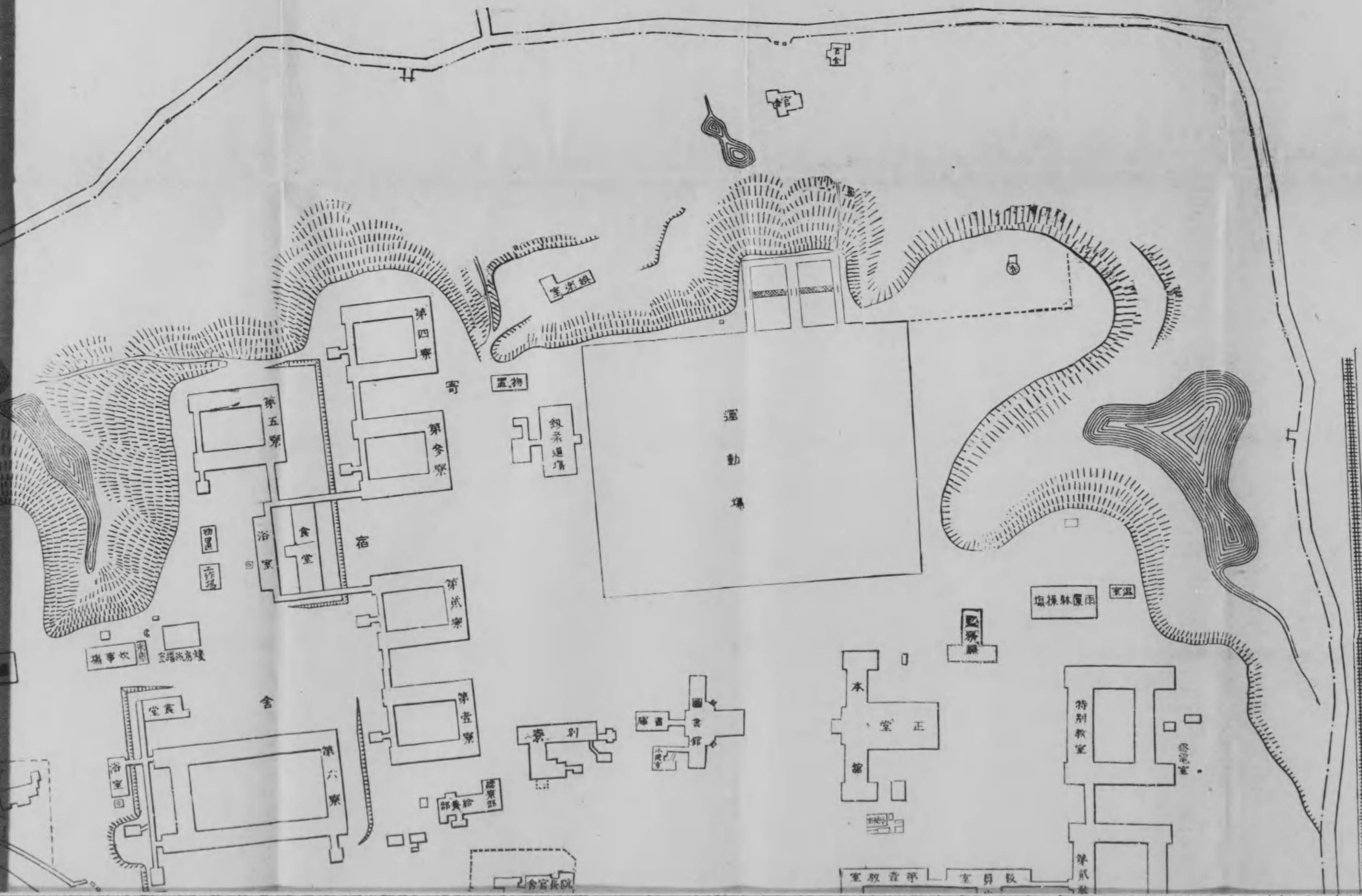
- 七 十一月三日秋季陸上大運動會ヲ本院運動場ニ於テ舉行ス
- 八 十二月輔仁會雜誌臨時増刊トシテ客員名簿ヲ發行ス
- 九 同月十七日輔仁會雜誌第九十一號ヲ發行ス

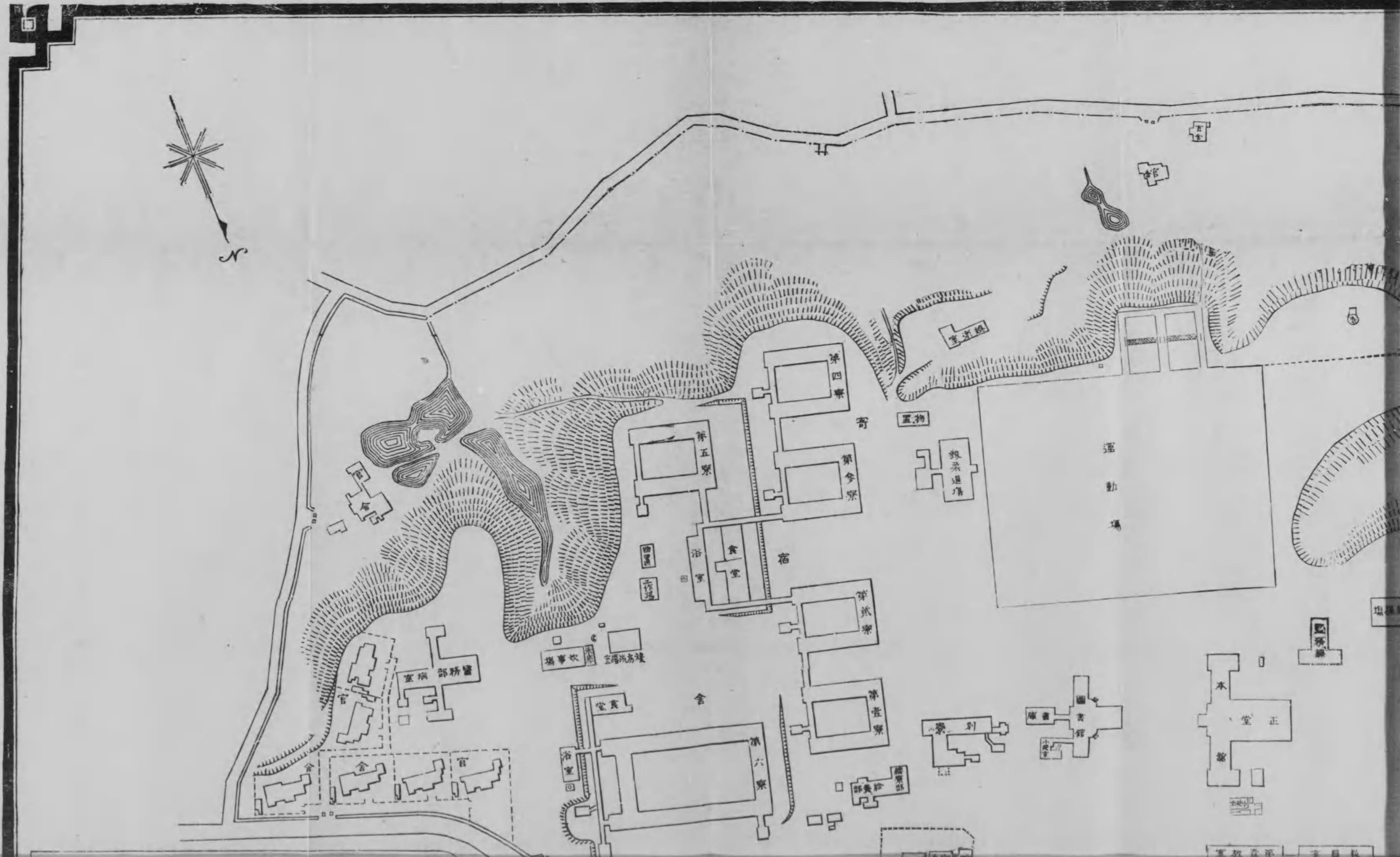


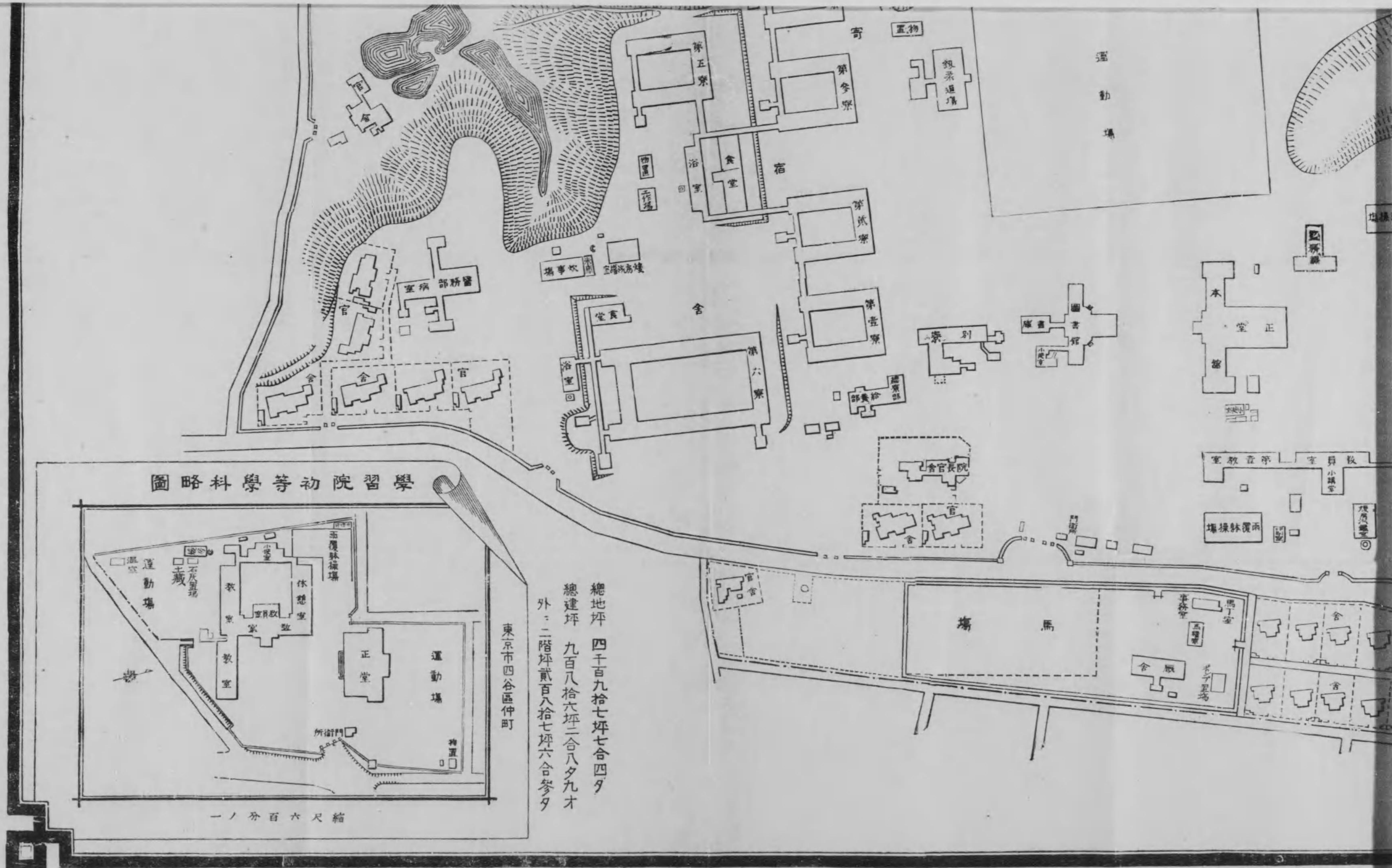
學習院本院略圖

箱入千六百廿一 東京府北豊嶋郡高田村

總地坪 七萬六百七拾二坪
總建坪 五千七百四坪七合五勺八分
外 壹千四百七坪







圖略科學等初院習學

東京市四谷區仲町

總地坪 四千九拾七坪七合四夕
 總建坪 九百八拾六坪二合八夕九才
 外：二階坪貳百八拾七坪六合參夕

一ノ分百六尺縮

大正三年七月十二日印刷
大正三年七月十六日發行

學 習 院

印刷者 白 土 幸 力

東京市神田區美土代町三丁目一番地

印刷所 三 光 堂

東京市神田區美土代町三丁目一番地

282
5

終